

会 告 目 次

平成 5 年度第 35 回通常総会の開催について	2
正会員新入会の特別キャンペーンの実施について	2
平成 5 年度各種行事の予定について	3
研究発表会開催通知	4
第 92 回 計算機アーキテクチャ研究会	4
第 2 回 音楽情報科学研究会	5
第 47 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	5
第 71 回 記号処理研究会	6
第 1 回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会	6
第 88 回 人工知能研究会	6
第 67 回 設計自動化研究会	7
第 2 回 グループウェア研究会	7
第 45 回 全国大会奨励賞の表彰	10
情報処理学会第 47 回全国大会実施要領	12
夏のプログラミング・シンポジウム「可視化」のお知らせ	19
プログラミング・シンポジウムについて	19
「利用者指向の情報システムシンポジウム」の開催について	20
「Groupware '93 シンポジウム」開催について	23
「コンピュータシステム・シンポジウム」の論文募集	25
「学会誌特集セミナー: BDD (二分決定グラフ)」参加申込書	26
情報処理学会シンポジウム, 講習会論文集リスト	27
ACM, IEEE-CS 入会の特典	28
アルゴリズム研究会小規模国際会議論文募集	29
ICS 国際会議 ADVANCE PROGRAM AND REGISTRATION	30
第 24 回 画像工学コンファレンス論文募集	35
支部だより	36
本会協賛等の行事案内	38
会 議 案 内	39
教 官 募 集	40
雑 報	42
編 集 室	42

平成5年度 第35回 通常総会の開催について

平成5年度通常総会を下記により開催いたします。ぜひご出席ください。なお、総会の案内状は、正会員各位に4月中旬別途郵送いたしました。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

- | | |
|------|--|
| 日 時 | 平成5年5月19日(水) 16:00~17:40 |
| 会 場 | 工学院大学3階312教室(新宿区西新宿 1-24-2) |
| 総会次第 | 1. 会長のあいさつ
2. 平成4年度事業報告および決算報告
3. 平成5年度事業計画および予算審議
4. 名誉会員の推挙
5. 平成4年度功績賞の発表と表彰
6. 平成4年度論文賞の発表と表彰
7. 平成4年度 Best Author 賞の発表と表彰
8. 平成4年度坂井記念特別賞の発表と表彰
9. 平成5年度新役員の選定
10. その他 |

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ(無料)を行います(エステック情報ビル4階)。会員が一堂に会し、直接にお話しできる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

正会員新入会の特別キャンペーンの実施について

情報処理に関する学術・技術の研究者・開発者、システム開発に携わっておられる方など、情報処理に関心をお持ちの方の入会を促進するため、6月11日(金)を締切日として、入会金2千円を免除する正会員新入会の特別キャンペーンを実施することといたしました。なお、一括扱い会員は、扱い単位ごとに別途実施いたします。

会員の皆さまには是非、この機会にお知りあいの方に入会をお勧めくださるようお願いいたします。

- (1) 入会申込書 本号末尾綴込みの書式をご利用ください。
- (2) 申込方法 入会申込書に年会費9,600円(郵便振替をお薦めします)を添えてお申し込みください(入会金は免除)。
- (3) 申込締切日 平成5年6月11日(金) 必着までとします。
- (4) 送付先・問合せ先

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1

エステック情報ビル 27F TEL 03 (5322) 3535

社団法人 情報処理学会 会員係

入会する時の手続きは以上ですが、正会員(一括扱い会員は除く)の方には、会費および論文誌購読費の支払納入方法として、次年度から「預金口座自動振替」をおすすめしております。平成6年度会費から自動振替納入を希望される方は、入会申込みの際に会員係までお知らせください。

平成 5 年度各種行事の予定について

4月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場が変更されることもありますので、ご注意ください。

(行 事)	(期 日)	(会 場)
第 35 回通常総会	5・19(水)	工学院大学
第 47 回全国大会	10・6(水)～8(金)	鳥取大学
第 48 回全国大会	平成 6 年	(未 定)
平成 5 年電気・情報関連学会連合大会 (共催)	8・30(月)～31(火)	早稲田大学
(シンポジウム)		
1993 年並列処理	5・17(月)～19(水)	早稲田大学
利用者指向の情報システム	6・18(金)～19(土)	日本ユニシス
マルチメディアと通信インフラ	7・8(木)	工学院大学
第 26 回情報科学若手の会	(未 定)	東北大学
夏のシンポジウム	7・19(月)～21(水)	北海道・池田町
DA シンポジウム '93	8・26(木)～28(土)	南風荘 (蒲郡市)
メディアと情報処理	平成 6 年 2・17(木)～18(金)	工学院大学
グラフィクスと CAD	9・21 (火)～22(水)	工学院大学
コンピュータシステム	10・20 (水)～21 (木)	工学院大学
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	11・17 (水)～19 (金)	山形大学
知識のリフォーメーション'93	11・25 (木)～26 (金)	東京工業大学
アドバンスト・データベース・システム	12・2 (木)～3 (金)	工学院大学
初等中等教育における計算機教育	12・7 (火)～9 (木)	工学院大学
第 35 回プログラミング・シンポジウム	平成 6 年 1・11(火)～13(木)	ホテル小涌園 (箱根)
プログラミング環境	(未 定)	(未 定)
(連続セミナー)		
CASE の問題点と今後の方向	5・13(木)	工学院大学
社会と文化とグループウェア	7・15(木)	工学院大学
コンピュータネットワークの今後	9・16(木)	工学院大学
情報家電の将来性	11・18(木)	工学院大学
ヒューマンティ時代への布石	平成 6 年 1・20(木)	工学院大学
情報セキュリティ	平成 6 年 3・17(木)	工学院大学
(講習会)		
オブジェクト指向分析・設計	5・27(木)～28(金)	工学院大学
自然言語処理	(未 定)	(未 定)
アドバンスト・データベース・システム	12・1(水)	工学院大学
講演会 (教育)	12・16(木)	工学院大学
情報学	平成 6 年 1・17(月)	日本学術会議講堂
(共 催)		
テレマティックス (仮)	(未 定)	(未 定)
第 24 回画像工学コンファレンス	12・8(水)～10(金)	ABC 会館
情報学シンポジウム	平成 6 年 1・18(火)～19(水)	日本学術会議講堂
(国際会議共催)		
ISADS: Int'l. Symposium on Autonomous Decentralized Systems	3・30(火)～4・1(木)	日立システムプラザ新川崎
DASFAA: 3rd Int'l. Symposium on Database Systems for Advanced Applications	4・6(火)～8(木)	Taejon, Korea

研究発表会開催通知

(平成 5 年 5 月 15 日～ 6 月 30 日)

研 究 会 名	日 時		会 場	備 考
情 報 シ ス テ ム	5月18日(火)	10:00～16:00	工 学 院 大	前号参照
情 報 学 基 礎	5月18日(火)	10:00～15:40	機 械 振 興 会 館	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	5月20日(木)	13:30～17:10	名 大	同 上
自 然 言 語 処 理	5月20日(木) 5月21日(金)	10:00～18:40 10:00～16:00	福 岡 工 大	同 上
人 文 科 学 と コ ン ピ ュ ー タ	5月21日(金)	10:00～16:30	京 都 工 織 大	同 上
グ ラ フ ィ ク ス と CAD	5月21日(金)	13:15～17:30	情 報 処 理 学 会 (新 宿)	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	5月26日(水)	13:00～17:20	工 学 院 大	同 上
データベースシステム システムソフトウェアと オペレーティング・システム (オペレーティング・システム)	合同 5月27日(木) 5月28日(金)	10:30～17:00 9:30～15:00	電 総 研	同 上
プ ロ グ ラ ミ ン グ — 言 語 ・ 基 礎 ・ 実 践 —	5月28日(金)	10:00～17:00	工 学 院 大	同 上
コ ン ピ ュ ー タ と 教 育	5月28日(金)	13:00～16:00	同 上	同 上
ア ル ゴ リ ズ ム	5月28日(金) 5月29日(土)	9:30～17:10 9:00～12:40	名 大	同 上
計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ	6月11日(金)	10:30～16:30	日 立 中 研	下 記 参 照
音 楽 情 報 科 学	6月12日(土)	13:30～16:50	民 博	同 上
ハ イ パ フ ォ ー マ ン ス コ ン ピ ュ ー テ ィ ン グ	6月18日(金)	10:30～17:00	工 学 院 大	同 上
記 号 処 理	6月18日(金)	13:00～16:30	同 上	同 上
* オ ー デ ィ オ ビ ジ ュ ア ル 複 合 情 報 処 理	6月18日(金)	13:15～17:00	機 械 振 興 会 館	同 上
人 工 知 能	6月23日(水)	13:20～17:00	工 学 院 大	同 上
設 計 自 動 化	6月25日(金)	9:00～17:30	金 沢 大	同 上
グ ル ー プ ウ ェ ア	6月25日(金)	9:30～16:30	NTT (MEDEIA LAB)	同 上

*新 設

◆第 92 回 計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ 研 究 会

(発表件数: 8 件)

(主査: 富田眞治、幹事: 中島 浩、村上和彰、矢野陽一)

日 時 平成 5 年 6 月 11 日(金)10:30～16:30

会 場 日立製作所 中央研究所 小平記念館 6 階 第 2 会議室

[東京都国分寺市東恋が窪 1-280、JR (中央線): 国分寺 (北口) 下車、徒歩 7 分、Tel. 0423(23)1111]

議 題

●一般発表

—10:30～11:30—

(1) X ウィンドウを用いたハイパーキューブの並列アルゴリズム表現

塩田佳明、渋谷 進 (茨城大)

[概要] X ウィンドウを用いて、反射 2 進順に配置した超立方体の並列アルゴリズムシミュレータを作成した。

(2) セルフ・クリーンアップ型ライトバック・キャッシュの提案

森眞一郎(京大)、大森洋一(奈良先端大)、中島 浩、富田眞治(京大)

[概要] ラインバック・キャッシュのラインバック・オーバヘッドを隠蔽する手法を提案する。

—12:30~13:00—

(3) 並列計算機の解析モデル —シミュレーションとの比較—

城 和貴、福田 晃(奈良先端大)

[概要] Synapse プロトコルの解析モデルによる評価結果と Archibald のシミュレーション結果との比較。

●小特集：アーキテクチャ教育

—13:00~16:30—

(4) 大学における計算機アーキテクチャの教育方法に関する考察

柴山 潔、新實治男(京都工繊大)

[概要] 計算機アーキテクチャ教育の実状を比較し、種々の制約がある環境でのその方法について考察する。

(5) 計算機工学一貫教育用マイクロプロセッサ KUE-CHIP DLX の開発

岩井原瑞穂、中村秀一、國貞勝弘、斎藤靖彦、中川智水、永浦 渉、山家 陽
山田哲也、赤星博輝、権 五鳳、村上和彰、安浦寛人(九大)

[概要] DLX 仕様に基づき、パイプライン、割込み、内部観測機能を備えた教育用プロセッサの開発状況報告。

(6) 工業高専におけるマイクロプログラミング教育

今井慈郎、本田道夫(香川大)、小島洋一(日本AMD)、宮武明義
田島眞一、国井洋臣(詫間電波高専)、富田眞治(京大)

[概要] マイクロプログラミング教育を行う上での各種ユーティリティとそれを用いた具体的な実例を報告。

(7) PARTHENON を用いた計算機アーキテクチャ教育

仲野 巧、木村 勉(豊田高専)、前原健二(津山高専)、塩見彰睦、今井正治(豊橋技科大)

[概要] 豊橋技科大および豊田高専での PARTHENON を用いた計算機アーキテクチャ教育の概要について述べる。

(8) 教育用マイクロプロセッサ KITE とその開発支援環境

田中康一郎、小羽田哲宏、久我守弘、末吉敏則(九工大)

[概要] 回路図や HDL を用い学習者が自らの手で設計、実装、動作検証まで行える教育用マイクロプロセッサ。

(9) パネル討論：計算機アーキテクチャをどのように教育するか

司会：中島 浩(京大)

パネリスト：今井慈郎(香川大)、柴山 潔(京都工繊大)、末吉敏則(九工大)

仲野 巧(豊田高専)、村上和彰(九大)

◆第2回 音楽情報科学研究会

(発表件数：3件)

(主査：平田圭二、幹事：嶋津武仁、志村 哲、鈴木 孝)

日 時 平成5年6月12日(土) 13:30~16:50

会 場 国立民族学博物館 2階 第5セミナー室

[吹田市千里万博公園 10-1、新大阪駅より地下鉄(御堂筋線)：千里中央下車、徒歩15分、またはJR：茨木下車、阪急または近鉄(エキスポランド行(1時間に2本))：日本庭園下車、徒歩15分。Tel. 06(876)2151]

*建物北側の通用口から必ず守衛の方に研究会参加の旨を告げてお入りください。(正面入口より入館しますと、一般来館者として入館料が必要となりますのでご注意ください。)

議 題

(1) 国立民族学博物館における音響データベース

中川 隆、鈴木 明、杉田繁治(民博)

[概要] 民博で構築中のマルチメディアデータベースの一環となる音楽・昔話などの音響データベースの紹介。

(2) 長唄において三味線の音色はどのように弾き分けられているか? —小十郎譜を例にとった場合—

矢向正人(九州芸工大)

[概要] 特殊奏法や糸を替えることにより変化する三味線の音色は旋律中でどう弾き分けられているか分析する。

(3) 日本音楽の情報処理 —一尺八の場合—

志村 哲(大阪芸大)、坪井邦明(浜松職業能力開発短大)、松島俊明(東邦大)

[概要] 日本音楽の情報処理の方法について伝統的記譜法と演奏様式の特徴より考察し記述方法と応用例を示す。

*今回の研究会は東洋音楽学会との共催で開催されます。

◆第47回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

(発表件数：7件)

(主査：福井義成、幹事：土谷 隆、長嶋雲兵、吉原郁夫)

日 時 平成5年6月18日(金) 10:30~17:00

会 場 工学院大学 11階 第8会議室(所在地は前記参照)

議 題 特集：EWS における HPC

●EWS における HPC の期待

—10:30~12:00—

(1) EWS における HPC を考える

野寺 隆(慶大)

[概要] 近年 EWS の普及はめざましく HPC の主な分野で利用されているが、その問題点などについて述べる。

(2) ワークステーションの特性を生かす計算システムの設計について 戸川隼人 (日大)

[概要] インタラクティブ性、標準データ形式、ウィンドウの活用、視覚化、データ蓄積管理方式などを論ずる。

● EWS における HPC の実際 —13:15~17:00—

(3) ワークステーションクラスタとメッセージパッシングライブラリ 関口智嗣 (電総研)、長嶋雲兵 (お茶の水女子大)

[概要] 実用に供されている数種のメッセージパッシングライブラリ (Express、PVM、P4) 等の特徴とその比較。

(4) Homotopy 法を用いた固有値問題の解法 鈴木智博、樋口 健、鈴木嘉彦 (山梨大)

[概要] ホモトピー法を用いて実非対称行列の固有値問題を解き、この解法が並列計算向きであることを示す。

(5) リスト構造を用いた疎な非対称連立一次方程式の直接解法 藤木健士、竹生政資 (九工大)

[概要] リスト構造を用いた行列表現と記憶領域管理により大規模な計算を可能とする方法を示す。

(6) Twisted GFSR 乱数のラティス構造について 手塚 集 (日本 IBM)

[概要] Tausworthe 法、GFSR 法、および Twisted GFSR 法により生成される乱数列のラティス構造とその問題点。

(7) 自動微分法による無限級数の加速法 平山 弘 (神奈川工科大)

[概要] 自動微分法を使うと、関数を漸近展開できる。これを利用して無限級数の加速を行うことができる。

◆第71回 記号処理研究会 (発表件数:3件)

(主査:小川貴英、幹事:天海良治、寺田 実、湯浦克彦)

日 時 平成5年6月18日(金)13:00~16:30

会 場 工学院大学 28階 第4会議室

[東京都新宿区西新宿 1-24-2、JR:新宿(西口)下車、徒歩約10分、Tel.03(3342)1211]

議 題

(1) 並列シミュレートッドアニーリングによるアミノ酸配列解析 戸谷智之、石川幹人 (ICOT)、星田昌紀、荒木 均 (松下電器)

[概要] 順位検定を用いた並列シミュレートッドアニーリングによるマルチプルアライメントシステムの実現。

(2) Micro Kernel の思想をとり入れた Lisp Server の設計 岩井輝男、中西正和 (慶大)

[概要] OS の機能を Lisp プログラムで設定可能なマルチスレッドの OS の設計について。

(3) TAO のコンカレンシ・コントロール 天海良治、山崎憲一、中村昌士、吉田雅治、竹内郁雄 (NTT)

[概要] TAO のプロセスの同期、通信の制御を統合するイベントボックスについて述べる。

◆第1回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会 (新設) (発表件数:5件)

(主査:富永英義、幹事:二宮佑一、村上仁己、安田 浩)

日 時 平成5年6月18日(金)13:15~17:00 (13:00受付開始)

会 場 機械振興会館 6階 67号室

[東京都港区芝公園 3-5-8、地下鉄:日比谷線神谷町、浅草線大門、三田線御成門下車、または JR:浜松町下車、バス:渋谷—東京タワー線東京タワー、渋谷—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車、Tel.03(3434)8211]

議 題 今回は研究会発足を記念してマルチメディアの将来ビジョンと研究課題と題し、以下5件の招待講演を行います。皆様のご参加をお待ちいたします。

(1) マルチメディアとB-ISDNの将来ビジョンとその研究課題 富永英義 (早大)

(2) 通信におけるマルチメディアの将来ビジョンと研究課題 高野陸男 (NTT)

(3) マルチメディアコンピューティング 森田修三 (富士通研)

(4) 家電から見たマルチメディアとB-ISDN 塚田啓一 (松下電器)

(5) マルチメディアと社会的課題 原島 博 (東大)

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (画像工学研究会)、IEEE 東京支部 (BT グループ) との協賛で開催されます。

◆第88回 人工知能研究会 (発表件数:5件)

(主査:石塚 満、幹事:橋田浩一、沼尾正行、吉田裕之)

日 時 平成5年6月23日(水)13:20~17:00

会 場 工学院大学 11階 第8会議室 (所在地は前記参照)

議 題

(1) 論理の幾何的モデルに基づいたルールと事例の協調推論の枠組 高島文次郎、森田千絵、月本 洋 (東芝)
[概要] 論理ベクトル表現を用いることによる、ルールと事例の協調推論の枠組を提案する。

(2) 汎タスクレベルにおける推論オペレータの導出 中村祐一、堀 雅洋、濱 利行 (日本 IBM)
[概要] Is-a 階層や2次元平面等のマクロ構造により問題をモデル化し、推論操作の導出に利用する。

(3) 自然言語からのパターン学習による知識獲得 大須賀勝美、黒川一夫 (東理大)

[概要] 言語のパターンを学習して階層的な木構造による表現方法と、そこから知識を獲得する方法を述べる。

(4) 詰将棋の感性評価 小山謙二、河野泰人 (NTT)

[概要] 詰将棋コンテストの優秀作品を感性、難易度などの観点から定量的に評価した。

(5) 詰将棋問題のデータベースと評価 小山謙二、河野泰人 (NTT)

[概要] 約12000の詰将棋作品に対し、問題・解答データベースを構築し、静的・動的特性を分析評価した。

◆第67回 設計自動化研究会

(発表件数:12件)

(主査:上田和宏、幹事:小川 泰、河村匡彦、安浦寛人)

日 時 平成5年6月25日(金)9:00~17:30

会 場 金沢大学 工学部 秀峯会館(正門を入ってすぐ左手の建物)

[金沢市小立野2-40-20、JR:金沢下車、バス(10・11番):工学部下車、徒歩1分、Tel.0762(61)2101]

議 題

—9:00~12:00—

(1) 4次の魔法陣の基本形880種を短期間に求める方法の開発 益富文男(福岡工業短大)

[概要] 1.16で形成する4次魔法陣基本形が880種であることをPascal言語を使い、初めて証明した。

(2) ビット幅を考慮したASICの設計手法について 雨坪孝尚、上田 稷、吉田 裕、白井克彦(早大)

[概要] 実規模レベルのデジタル信号処理アルゴリズムを題材として、機能設計の一手法について議論する。

(3) Minimization of Delay Buffers in Pipelined Circuit Synthesis 徐 行儉、石塚 満(東大)

[概要] In this paper, a heuristic approach with $O(n^2)$ order is introduced.

(4) Minimum STT State Assignment Using SBDD 権 容珍、矢島脩三(京大)

[概要] 2分割を命題論理を用いて表現し、その最小解を得る。制約付き状態割り当てにも応用可能である。

(5) 多入力論理関数に対する効率的なWalshスペクトルの計算手法とそのテクノロジマッピングへの応用

藤田昌宏(富士通研)、Edmund M. Clarke、Z. Xudong (CMU)、J. Yang (スタンフォード大)

[概要] 定数に整数値を認めた二分決定グラフを利用し論理関数に対するWalshスペクトルを計算する手法。

—13:00~17:30—

(6) 多段NANDゲート回路の一設計法 松田秀雄、宮腰 隆、畠山豊正(富山大)

[概要] 木形構造の多段NANDゲート回路の一設計アルゴリズムを述べ、厳密解と組み合わせた場合と比較する。

(7) 三段NANDゲート回路の一設計法 宮腰 隆、大澤一人、松田秀雄、畠山豊正(富山大)

[概要] 多段NANDゲート回路を三段に直し、項の拡大、被覆表を用いて(近似)最小三段回路の一設計を得る手法。

(8) 遅延考慮配置アルゴリズム 袖美樹子、宮沢義幸(NEC)

[概要] 遅延考慮配置アルゴリズムについて述べる。特に階層クラスタリングでの遅延考慮について述べる。

(9) 多層チャネル配線方法 加藤直樹、菊池 淳(日立)、花木章一(日立超LSIエンジニアリング)

[概要] 貫通ビア禁止モデルでの多層配線の層割当方法および配線間クロストーク低減経路割付け方法について。

(10) セミオートマティックバスルータ 水野亜左実、永原 出(ソニー)、武藤信元(イノテック)

[概要] 半自動配線処理で、分岐のあるバス配線を実現する手法を開発し実計画に使用、その有効性を実証した。

(11) 多層多端子ネットの位相配線におけるビア数最小化問題について 藤吉邦洋、梶谷洋司(北陸先端大)

[概要] 表記問題の最適解において、一つのt-端子ネットは高々t-1個のビアしか持たないことを示す。

(12) アナログレイアウトエディタに適した位相配線のデータ構造と修正アルゴリズム

村田 洋、梶谷洋司(北陸先端大)

[概要] 平面の三角形分割により、任意の端子移動に伴う位相配線高速修正アルゴリズムを実現する。

◆第2回 グループウェア研究会

(発表件数:9件)

(主査:松下 温、幹事:岡田謙一、守屋康正、山上俊彦)

日 時 平成5年6月25日(金)9:30~16:30

会 場 NTT MEDEIA LAB (NTT 映像メディア開発センタ)

[東京都港区南麻布1-6-15 アーバンネット麻布ビル、JR:新橋下車、都営バス(橋06・橋86・反96)、JR:渋谷下車、都営バス(都06)、またはJR:目黒下車、都営バス(橋86・黒10)、いずれもバスは二ノ橋下車(約20分)、Tel.03(5440)5521]

*会場が変更となっております。ご注意ください。

議 題

—9:30~12:00—

(1) グループウェア開発用フレームワーク

長谷部浩一、山口浩司、澤島信介、友田一郎、R. Trehan(東芝)

[概要] 並行オブジェクト指向C言語cooCとメディアサーバを利用したフレームワークの試作。

(2) 自律的オブジェクトによる協同作業のモデル化

樋地正浩(日立東北ソフトウェア)、布川博士、白鳥則郎(東北大)

[概要] 協同作業におけるコミュニケーションをモデル化するための計算モデルの構造と機能について述べる。

- (3) 図的発想支援システム D-ABDUCTOR のグループウェア化手法 三末和男 (富士通)
 [概要] 共同作業間で図解の共有を実現する通信機能をD-ABDUCTOR に追加実装した。
- (4) マルチメディア多地点通信サーバにおける一検討 水野浩三、福岡秀幸、斉藤裕之 (NEC)
 [概要] 在席会議システムにおいて、多地点通信サーバを遠隔制御するためのインタフェースを提案する。
- (5) コラボレーションルームの設計とその利用 桑名栄二、坂本泰久 (NTT)
 [概要] コンピュータを用いた協調作業支援環境の設計とその利用経験について述べる。

—13:30~15:30—

- (6) 4次の魔法陣の内陣と外周とのグループウェア性 益富文夫 (福岡工業短大)
 [概要] 4次の魔法陣7040種すべてが内陣4個と外周12個との間に協調性を有することを発見した。
- (7) カードmq操作ツールKJエディタを用いた協調作業実験 竹田尚彦、塩見彰睦、河合和久 (豊橋技科大)、大岩 元 (慶大)
 [概要] KJエディタを用いた協調作業では、カード操作がコミュニケーションに有効であることが示された。
- (8) 人脈活用支援システムの構築 緒方広明、森川富昭、林 敏浩、矢野米雄、土定正明、古郡延子、金 群 (徳島大)
 [概要] グループ内の各個人がもつ人脈を共有活用することで、グループ活動を支援するシステムを提案する。
- (9) Awarenessと状況記憶を支援したインフォーマルコミュニケーション環境 松浦宣彦、日高哲雄、岡田謙一、松下 温 (慶大)
 [概要] インフォーマルコミュニケーション支援のための人の存在の認識方法と状況の記憶活用について述べる。

—15:30~16:30—

- (10) 見学: NTT MEDEIA LAB

◆グラフィクスとCAD研究会

第64回研究会「夏の集中研究集会 芸術とマルチメディア」論文募集

CGの研究には、リアルな画像生成の追求、より美しい画像、あるいはよりわかりやすい画像の追求の他に他の情報との融合といったアプローチもあるはずですが、今回の集中研究集会では、画像だけでなく、音響、音楽などを含めてマルチメディアとVRにおける総合的な美しさを創造・表現するための手法・経験を語りあえる場にしたいと考えております。

日 程 平成5年8月19日(木)、20日(金)

会 場 スズキ荘観月園(浜名湖)(宿泊費:12,000円(予定))

発表申込締切 平成5年5月31日(月)

参加者数 25名程度に限定します。(原則として全員が発表を行う)

問合せ先 三好和憲(工学院大・電子) Tel. 03(3342)1211 大野義夫(慶大・理工) Tel. 045(563)1141

◆情報メディア研究会 } 合同
◆グループウェア研究会 }

上記研究会の合同研究発表会を下記のとおり開催いたします。多数の発表申込、および参加をお待ちしています。奮ってご応募ください。

日 程 平成5年10月28日(木)、29日(金)

会 場 三重大学 工学部

議 題 特集:メディアとグループウェア

発表申込締切 平成5年7月20日(火)

問合せ先 IM : 上林憲行(富士ゼロックス)

Tel. 045(336)9391 FAX 045(336)9376

e-mail: nori@rst.fujixerox.co.jp

GW : 岡田謙一(慶大)

Tel. 045(563)1141 内3537 FAX 045(562)7625

e-mail: okada@inst. keio. ac. jp

*研究会に発表申込希望者は開催日の3ヶ月前までに研究会発表申込書(4月号本欄末添付)を事務局研究会係までご送付ください。

◆音声言語情報処理と音声入出力装置研究グループ

(主査:中川聖一、幹事:新田恒雄、小林 豊、岡田美智男)

第4回 研究会 講演および参加募集案内

日 時 平成5年7月2日(金) 13:00~18:00

3日(土) 9:00~16:00

会場 熱川ハイツ (賀茂郡東伊豆町奈良本 1240-14、Tel. 0557(23)2300)

議題 テーマ: Spontaneous Speech の分析・理解・生成

研究成果報告だけでなく、比較的荒削りな意見発表・問題提起・サーベイなどが望まれます。

参加費 一般:5,000円、学生:2,000円(宿泊費:9,000円程度)

申込方法 本研究会は合宿形式で行います。講演、または参加ご希望の方はFAXかe-mailで下記宛ご連絡ください。その際、ご所属、氏名、連絡先住所、電話、FAX番号をお知らせ願います。

講演申込締切:平成5年6月1日(火) 原稿締切・参加申込締切:平成5年6月11日(金)

申込先 岡田美智雄 (NTT) Tel. 0422(59)2836 FAX 0422(59)3943 e-mail: okada@atom. ntt. jp

*電子情報通信学会(音声認識の実用化をめざす新手法時限研究専門委員会)との共催で開催されます。

◆「情報検索システム評価用データベース構築ワーキンググループ(略称:ベンチマーク DBWG)」発足のお知らせ

(グループリーダー:木本晴夫、幹事:石川徹也、田中智博)

近年、データベースの増大に伴って、情報検索システムや自動索引システムの研究・開発が多くなされ、論文発表もなされています。しかし、これらのシステムの評価は開発元で個々に準備したデータに基づいて行われていて、評価のベースがバラバラで、各システム相互の精度比較ができず、客観性に欠けていました。これらの問題点を解決するために、研究者・開発者が共通に利用できる評価用データベース構築の必要性の認識が高まっています。すでに、アメリカやイギリスでは評価用データベースが作成され、一般に提供されています。

本ワーキンググループでは、上記の評価用データベースを構築することを目的として、収集すべきデータの数と内容、データへの検索用の索引付け、検索の適合性の判定、検索結果の信頼性、システムの評価法等について議論し、作業を行います。

本ワーキンググループは過去約6ヶ月にわたる準備期間の中で研究会活動(平成4年9月、データベースシステム研究会)等を行って、平成5年3月に本会データベースシステム研究会内のワーキンググループとして正式に設立されました。活動期間は3年をめぐっています。

評価用データベースの構築の考え方はまとも次第、早期に学会誌などで公表してご意見・ご批判を受けたいと考えています。また、評価用データベースは、最初はテスト版として公開し、ご意見・ご批判を取り込んだのち完成版にして広く配布したいと考えています。情報検索や自動索引の分野の人々で、本ワーキンググループの活動に関心をお持ちの方は下記までどしどしご連絡ください。

連絡先 木本晴夫 NTT 情報通信網研究所 238-03 横須賀市武 1-2356、408 C
Tel. 0468(59)2569 FAX 0468(59)3428 e-mail: kimoto@nttnlk. ntt. jp

第 45 回全国大会奨励賞の表彰

第 45 回全国大会奨励賞は、去る 3 月 24 日～26 日に工学院大学で開催された第 46 回全国大会の席上、会長から下記 13 君に授与されました。

本賞は昨年 10 月開催の第 45 回全国大会（於徳島大学）の発表論文を対象に、奨励賞委員会（委員長 相磯副会長）において表彰規程にもとづき、総発表件数 1,068 件中推薦のあった 51 名の候補者の中から 20 名を選び、さらに慎重審議の結果、13 名が受賞候補者として推薦され、第 372 回理事会（平成 5 年 1 月）の承認をえて決定されたものです。

オートマトン型単語照合の姓名文字列への適用 (2C-1)

丸川 勝美君 (正会員)

1963 年生、1986 年筑波大学第三学群情報学類卒業。1988 年同大学院工学研究科構造工学専攻博士課程前期修了。同年(株)日立製作所入社。現在、同社中央研究所知能システム部にて、パターン認識、日本語処理等の研究に従事。

日本語文書校正支援システム St. WORDS (6C-1)

福島 俊一君 (正会員)

1958 年生。1982 年東京大学理学部物理学科卒業。同年日本電気(株)入社。現在、同社 C&C システム研究所ターミナルシステム研究部主任。自然言語処理システムの研究開発に従事。人工知能学会、計量国語学会、ACL 各会員。

情報量から見た自然言語処理システムに対する考察 (3E-2)

野見山 浩君 (正会員)

1961 年生。1983 年九州大学工学部情報工学科卒業。1985 年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム(株)入社。現在、同社東京基礎研究所にて機械翻訳の研究に従事。

トライオン神経回路網が生成する音楽のスペクトル分析 (7E-1)

足立 整治君 (正会員)

1961 年生。1991 年大阪大学理学研究科物理学専攻博士課程修了。同年から 1 年間 UC Irvine でニューラルネットワークの研究に従事。1992 年 ATR 人間情報通信研究所入社。現在、音及び音楽におけるゆらぎの研究に従事。

最小矛盾の概念を用いた混合 0-1 整数計画問題の近似解法 (5G-5)

原 裕貴君 (正会員)

1961 年生。1984 年東京大学理学部情報科学科卒業。同年、(株)富士通研究所入社。1991～92 年 MIT 客員研究員。現在、同社知識処理研究部にて、大規模な組み合わせ最適化に関する研究に従事。人工知能学会、IEEE 各会員。

共有記憶型並列計算機上での共有二分決定グラフの並列化について (4L-3)

木村 晋二君 (正会員)

1959 年生。1982 年京都大学工学部情報工学科卒業。1984 年同大学院修士課程情報工学専攻修了。1985 年 9 月同大学院博士後期課程情報工学専攻退学。1985 年 10 月より神戸大学工学部助手。1993 年 4 月より奈良先端科学技術大学院大学助教授。形式的論理設計検証、タイミング検証、並列 CAD システムなどの研究に従事。電子情報通信学会、IEEE 各会員。

データベース管理システム「沙羅」の機能拡張 (2R-1)

石丸 知之君 (正会員)

1982 年東京農工大学工学部数理情報工学科卒業。1984 年同大学院工学研究科修士課程修了。同年(株)東芝入社。1989 年東京農工大学大学院工学研究科博士後期課程に社会人学生として入学、1993 年単位取得満期退学。データベースシステムの研究に従事。現在、(株)東芝青梅工場ミドルウェア開発部にてソフトウェア開発の業務に従事。

分類知識表現を用いたキー検索アルゴリズムの決定法 (5U-5)

獅々堀正幹君 (正会員)

1965年生。1991年徳島大学工学部情報工学科卒業。1993年同大学院工学研究科知能情報工学専攻修士課程修了。現在、同大学院工学研究科システム工学専攻博士課程在学中。自然言語処理に関する研究に従事。

フォールトトレランスな群制御プロトコルの設計 (5V-2)

鈴木 等君 (学生会員)

1969年生。1992年東京電機大学理工学部経営工学科卒業。現在、同大学院理工学研究科システム工学専攻修士課程に在学中。分散型システムの研究に従事。

汎用 OSI 7 層ボードの性能評価 (6V-2)

井戸上 彰君 (正会員)

1961年生。1984年神戸大学工学部電子工学科卒業。1986年同大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了。同年国際電信電話(株)入社。現在、同社研究所 OSI 通信グループにて、OSI 通信ハードウェア/ソフトウェアに関する研究に従事。電子情報通信学会会員。

平衡点解析によるトークンバスプロトコルの解析 (1W-2)

楠 和浩君 (正会員)

1962年生。1986年九州大学工学部情報工学科卒業。1988年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年三菱電機(株)に入社。現在、同社情報電子研究所システム技術開発部にて、情報通信ネットワークの研究に従事。

隠れ端末問題を顧慮した新しい2つの MAC 法 (1W-3)

泉本 貴広君 (学生会員)

1969年生。1992年慶応義塾大学理工学部計測工学科卒業。現在同大学院理工学研究科計測工学専攻修士課程に在学中。無線 LAN の研究に従事。

分散マルチメディアシステムアーキテクチャ (3W-9)

米田 健君 (正会員)

1965年生。1989年慶応義塾大学理工学部計測工学科卒業。1991年同大学院理工学研究科計測工学専攻修士課程修了。現在、同大学院理工学研究科計測工学専攻博士課程在学中。マルチメディア統合システムの研究に従事。

情報処理学会 第47回 全国大会実施要領

全国大会講演論文原稿について

——より早く、より良い論文集をつくるために——

第47回全国大会(平成5年後期)からA4判の講演論文原稿用紙に変更します。

現行のB4判原稿用紙は手書き時代のマス目のもので、ワープロが普及した現在では、かえって使い勝手の悪いものになっております。

収容文字数が多少少なくなる等の問題はありますが、会員の皆さまの便宜にかなひ、ご希望に添うものであります。何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

講演申込書締切日の厳守を徹底しますので、申込書等の提出は必ず期日までにお出しいただき、一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

開催期日 平成5年10月6日(水)～8日(金)

会場 鳥取大学工学部(鳥取市湖山町南)

日程一覧 1. 講演申込書の送付

学会誌本号(Vol. 34, No. 5)掲載の講演申込書に記入して、応募規程 IV.1. の申込方法により **7月1日(木)(必着)**までにお送りください。なお7月1日に持参する方は、エステック情報ビル27階C会議室(学会事務局隣)にて受け付けています。締切に遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。

2. プログラム編成委員会の開催

講演申込書を締め切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。

3. 登録原稿等の送付

7月中旬に事務局から「登録原稿」等をお送りいたします。講演番号も同時に通知いたしますので、発表日時をご確認ください。

4. 講演論文等の提出

講演論文原稿および登録原稿等を一括して**8月18日(水)(必着)**までにご提出ください。

5. 大会プログラムを学会誌9月号(Vol. 34, No. 9)に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

応募規程 I. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

II. 応募資格

1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
3. 平成5年度会費未納の会員は発表できません。
4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、奨励賞の表彰対象者にはなれません。

III. 講演論文該当分野

1. 情報科学一般

A. 一般

- a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他

B. 社会

- a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他

- C. 教育
 a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学, f. その他
2. 基礎理論及び基礎技術
- A. 情報数学
 a. 形式論理, b. オートマソン理論, c. 形式言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. アルゴリズム論, g. グラフ理論, h. 組合せ理論, i. ファジィ理論, j. 符号理論, k. 整数論, l. その他
- B. 情報理論及び OR
 a. 情報理論, b. 線形・非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. その他
- C. データ解析
 a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. その他
- D. 数値計算
 a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形計算, e. 非線形方程式, f. 数値微積分, g. 常微分方程式, h. 偏微分方程式, i. 積分方程式, j. 極値問題, k. 最適化, l. 特殊関数, m. 数式処理, n. 乱数, o. その他
- E. シミュレーション
 a. 有限要素法, b. 境界要素法, c. 差分法, d. モンテカルロ法, e. その他
3. 人工知能及び認知科学
- A. 基礎理論
 a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 非単調理論, g. 学習理論, h. コネクショニズム, i. その他
- B. 人工知能システム
 a. エキスパートシステム, b. ガイダンスシステム, c. エキスパートシステム作成支援ツール, d. ゲームプログラム, e. 演繹データベース, f. 知能ロボット, g. その他
- C. 自然言語処理
 a. 機械翻訳, b. 自然言語インタフェース, c. 対話システム, d. 形態素解析, e. 構文解析, f. 意味解析, g. 文生成, h. 談話理解, i. 文法, j. 辞書, k. その他
- D. パターン認識
 a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. その他
- E. 生体情報処理
 a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. ニューラルネットワーク, e. その他
- F. 感性情報処理
 a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
4. データ処理
- A. 音声処理
 a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他
- B. 画像・図形処理
 a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
- C. テキスト処理
 a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. その他
- D. マルチメディア処理
5. ソフトウェア
- A. 基礎理論
 a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算法論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム, j. プログラム合成・変換, k. その他
- B. プログラム言語及び仕様記述言語
 a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他
- C. 言語処理系
 a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. その他
- D. ツール

- a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. ウィンドウシステム, f. その他
- E. オペレーティングシステム
 - a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
- F. データベース・情報検索
 - a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. その他
- G. プログラミング技術
 - a. データ構造, b. ガーベジコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. その他
- 6. ソフトウェア工学
 - A. 開発技術
 - a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング, f. 部品化・再利用技術, g. プログラム自動構成, h. その他
 - B. テスト・保守
 - a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. その他
 - C. ソフトウェアプロセス
 - a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他
 - D. 開発環境
 - a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. その他
 - E. ヒューマンファクタ
 - a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育・プロジェクト管理, c. プログラミング行動, d. その他
- 7. ハードウェア
 - A. 基礎理論
 - a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他
 - B. 論理回路
 - a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他
 - C. デバイス
 - a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他
 - D. アーキテクチャ
 - a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. スーパーコンピュータ, d. ワークステーション, e. 高級言語マシン, f. 非ノイマンアーキテクチャ, g. 並列アーキテクチャ, h. マイクロプログラム, i. フォールトトレランス, j. その他
 - E. 周辺・端末
 - a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他
 - F. 設計技術及び設計自動化
 - a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. シリコンコンパイラ, h. その他
 - G. 開発環境
 - a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他
 - H. テスト・検証
 - a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他
- 8. ネットワーク
 - A. 通信技術
 - a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他
 - B. ネットワーク管理
 - a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他
 - C. コンピュータネットワーク
 - a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他

9. システム

A. 対話型システム

- a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム,
- i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他

B. オンラインシステム

- a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他

C. 制御システム

- a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他

D. システム評価

- a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他

10. 信頼性と安全性

A. 信頼性

- a. 信頼性理論, b. 保全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他

B. 機密保護

- a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他

11. 応用

A. 企業等への応用

- a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算機センタ運営,
- h. 教育, i. その他

B. 工学等への応用

- a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物,
- i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他

C. 芸術等への応用

- a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他

D. その他への応用

- a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他

IV. 申込方法

1. 本号会告ページ掲載の「全国大会講演申込書」に必要事項を記入して7月1日(木)(必着)までに申し込むこと。
2. 講演申込は講演申込書および講演参加費を添えて申し込むこと。
なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、まとめて送付すること。

V. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記し、まとめて送付すること。

VI. 講演参加費

1. 1件につき、会員は7,000円、学生は4,000円です。
2. 講演申込書を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

VII. 論文原稿提出

1. 論文原稿は、8月18日(水)(必着)までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。
3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力しますので、所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。
4. ワープロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
5. 論文原稿提出後の訂正は一切取扱いません。よく推敲して提出してください。
6. 論文原稿の返却はいたしません。

VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会(プログラム編成委員会)が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。

2. 内容が商業宣伝に偏したもの（極端な商品名の引用には注意する）.
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの.
4. 応募規程に違反するもの.
5. 提出期限に遅れたもの（次回への応募をお薦めします）.

IX. 論文集の配布

発表者には講演論文を含んだ論文集 1 冊を事前に郵送します.

X. 発表論文の別刷はいたしません.

XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける.
2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の近くに設けられた講演者控え席で待機する.
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて 15 分間とします（都合により 13 分間のセッションもあります）. 講演中でも時間切れで打ち切ります.
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します.
5. 講演の代理（読）は認めません.

XII. 申込先及び問合せ先

（社）情報処理学会 全国大会係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F Tel. 03 (5322) 3535

情報処理学会第 47 回全国大会
講演申込書

受番	付号	
講番	演号	

掲載 ページ	
-----------	--

第 47 回 全国大会に下記により講演申込をいたします。

標 題 注 1)						
フリガナ 注 1)						
著 者 名						
所 属 名						
フリガナ				← 注) 講演者を○印で表示してください。(氏名の左上) 講演者会員種別 (○印で囲む) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>正会員</td> <td>学生会員</td> </tr> </table>	正会員	学生会員
正会員	学生会員					
著 者 名						
所 属 名						
論文該当分野 注 2)	(1)	(2)	(3)	*1 注 3) *2 注 3)		

- 注 1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないでください。
- 注 2) 論文募集要領の論文該当分野表を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。(例“ソフトウェア工学分野、開発環境”の場合、6Dと書く)
- 注 3) 複数件講演申し込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の *1 または *2 に記入してください。

論 文 要 旨 (300 字程度)

第 47 回 全国大会講演発表用原稿用紙送付宛名 (講演者氏名をお書きください)

◎ 原稿用紙等の送料として郵便切手 250 円を添付のこと。

講演番号		(楷書でハッキリ記入してください)
原稿用紙送付先 〒	_____	
機 関・部 課 名	_____	
フリガナ	_____	
講演者氏名	_____ 殿 (会員番号 _____)	
Tel.	_____ (ex. _____)	FAX _____

会 告

第47回 全国大会講演参加費送金連絡票

この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入願います。

1. 1件につき、会員は7,000円、学生は4,000円（講演者には参加章・プログラム・論文集1冊を事前発送します）。
2. 講演不採択の場合は、講演参加費を返却しますが、申込後取消しの場合は返却しません。
3. 講演参加費は、講演申込書に現金を添えて学会事務局に持参くださるか、あるいは郵便振替を原則とします。
4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方は全てこの用紙に記入し、機関ごとにとまとめてご提出ください。
5. 銀行振込は、所定の銀行口座【三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774】にご送金ください。
なお、座長、プログラム編成委員および現地実行委員は無料です。
但し、2件以上の場合には1件増すごとに4,000円か7,000円をご送金ください。
注）ご送金は登壇発表者名をお願いします。
6. 2件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をもれなくご記入ください。（共著者の氏名は記入しないでください。）
7. 支払い件数が多く、下の票に講演者氏名が書ききれない場合は別にリストをつけてください。
8. 講演参加費は消費税対象外です。
9. 講演参加費は平成5年7月1日までにお支払い願います。

講演参加費	4,000円	件	7,000円	件	
講演者氏名	○		○		
	○		○		
	○		○		
合計金額				円	
必要書類：請求書 通、納品書 通、見積書 通 ※必要のない方は空欄のままです。					
送金方法： <input type="checkbox"/> 郵便振替（東京 5—83484） ※該当個所にレ印を付けてください <input type="checkbox"/> 銀行振込 _____ 銀行 （専用銀行口座：三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774） 送金月日： 月 日 送金人名義：					
通信欄：					
（楷書でハッキリ記入してください）					
講演参加費 取扱者 連絡先	_____ 〒 _____				
機関・部課名	_____				
フリガナ 氏名	_____ 殿				
Tel.	_____ (ex. _____)			FAX	_____

夏のプログラミング・シンポジウム「可視化」のお知らせ

今年の夏のシンポジウムは以下のように「可視化」をテーマに開催します。

- 計算過程／結果の可視化
- 思考、証明、知識、発想の可視化
- プログラムやデータ構造の可視化
- 自然・社会現象の可視化
- バグの可視化
- 文書の可視化 など

とにかく、通常は見えない・見えにくいものの可視化に関する斬新なアイデアを募集します。

広い意味で目に見えればよいので、図、グラフ、CG は言うに及ばず、文字や、ひょっとしたら音による可視化も歓迎です。自由な発想を展開する場として、このシンポジウムをお使いください。

- 日時** 1993年7月19日(月)14:00~21日(水)11:30
- 場所** 池田町まきばの家〔北海道中川郡池田町清見 Tel. 01557(2)4371〕
- 定員** 50名
- 参加費** 30,000円〔宿泊費・食費込み、ただし家族は実費(20,000円程度)〕
- 主査** 中島 秀之(電総研)
- 幹事** 多田 好克(電通大), 斎藤 隆文(NTT), 伊知地 宏(富士ゼロックス)
- 発表申込** 発表者名、性別、所属、連絡先、E-mail address、アブストラクト、使用希望機材(OHP、スライド、ビデオ等)をA4一枚程度に書いて申し込んでください。
- 参加申込** 発表者は自動的に参加申込みとしますが、それ以外の連名者は別途参加申込みをお願いします。発表を聞くだけの参加はその旨を明記してお申込みください。なお、発表者、参加者だけでなく、その家族の宿泊も歓迎いたします。

- 申込・連絡先** 305 つくば市梅園 1-1-4 電子技術総合研究所 協調アーキテクチャ研究室
中島 秀之 E-mail:nakashim@etl.go.jp
連絡はできれば電子メールでお願いします。
- 締切** 発表、参加申込みともに5月24日(月)必着



プログラミング・シンポジウムについて 第35回 プログラミング・シンポジウム発表募集

プログラミング・シンポジウムは通常のシンポジウムとは異なり、自由な雰囲気の中で、計算機の無限の可能性を討議し開拓していく「夢のシンポジウム」を目指したものです。1960年に第1回が開催されて以来これまでに、将来を展望したプログラミング技術等に関して、毎年活発な討論が行われ、その中から数多くの斬新なアイデアが生まれてきました。

- (1) 学術論文発表の場というより、多方面の人々の共通の討論の場であり、意見の交換の場であると考えています。(夕食後にも、自由討論の会場を用意します。)
- (2) 情報処理の発展のために、多数の方々が参加され、活発に発言されることを期待します。
- (3) 未完成であっても将来に影響を与えるような話題を歓迎します。
- (4) ポスタ発表およびデモンストレーションなどの場所を用意します。

- 日時** 平成6年1月11日(火)午後1時より13日(木)正午まで
- 場所** 箱根ホテル小涌園
- 問合せ先** 情報処理学会 シンポジウム係 Tel. 03(5322)3535
- 発表申込** 9月4日(土)までに、氏名、所属、連絡先(e-mail アドレスも)、発表の題と要旨をA4判用紙1~2枚に書いて事務局宛にお送りください。その採否は9月末までにお知らせいたします。発表原稿の締切は11月19日(金)です。発表は口頭発表およびポスタ発表が可能です。ポスタ発表希望の方は申込時にその旨を明記してください。

- 参加申込** 10月号に参加申込書を、また11月号にプログラムを掲載する予定です。

「利用者指向の情報システムシンポジウム」の開催について

—新しい情報化の潮流と組織のリストラクチャリング—

情報システムが個人から一般社会にいたるさまざまな組織に広く普及・浸透してきた今日、利用者を指向した情報システムをいかに実現するかが重要な課題となっています。この課題に取り組むには、組織と情報システム双方における情報の生産・流通・利用過程の絡みを幅広い視点から捉えて、情報システムの設計と構築を論じる必要があります。

とくに、最近ネットワーク化、オープン化、ダウンサイジング化などの新しい情報化の潮流に対して、組織のリストラクチャリングや人材の育成が急務となってきました。そこで、本シンポジウムでは、このような新しい情報化の潮流の動向ならびにそれに対処するための情報システムの研究動向、方法論、具体的事例等について、発表・討論を行う予定です。この問題に関心を持つ研究者、利用者、設計・開発者、運用者の方々のご参加をお願いします。

日 時 平成5年6月18日(金) 10:00~17:20
19日(土) 9:30~17:30

場 所 日本ユニシス豊洲本社 (135 江東区豊洲 1-1-1)
Tel. 03 (5546) 5900, 地下鉄有楽町線 豊洲駅下車 徒歩10分

協 賛 (社) 日本情報システム・ユーザ協会

参加費 正会員 10,000円, 非会員 15,000円, 学生会員 1,500円 (論文集のみ 5,000円, 送料込)

懇親会 発表者やパネラとの個別討論や参加者どうしの親睦の場です。奮ってご参加ください。
会費 3,000円 (参加費と一緒に申し込みください。)

申込締切 平成5年6月4日(金)

~~~~~プログラム~~~~~

第1日 6月18日(金)

開会の辞 (10:00~10:10) 情報システム研究会主査 上野 滋 (スタットラボ)

招待講演1 (10:10~11:00) 司会 上野 滋 (スタットラボ)
・社会をめざした情報システムの新しい展開 森谷 正規 (技術評論家)

招待講演2 (11:10~12:00) 司会 上野 滋 (スタットラボ)
・情報システム学の必要性和その標準カリキュラム 細野 公男 (慶大)

—昼食(60分)—

招待セッション (13:00~15:00)

組織のリストラクチャリング 司会 佐藤 敬 (東京工科大)
・情報システムユーザのリストラクチャリング 金 修 (横河電機)

・大学における統合情報システムの構築 黒川 恒雄 (工学院大)

・ソフト会社のリストラクチャリング 倉石 英一 (東洋情報システム)

・グループウェアによるホワイトカラーの生産性向上 関口 益照 (富士通総研)

—休憩(20分)—

パネル討論 (15:20~17:20)

・新しい情報システムのための人材とその養成 司会 堀内 一 (日立)

パネラ 池田 稔 (富士通), 小島 康壽 (通産省), 福川 忠昭 (慶大),
三森 定道 (日立), 宮崎 和郎 (アンダーセンコンサルティング)

懇親会 (17:30~19:00)

発表者やパネラとの個別討論や参加者どうしの親睦の場です。奮ってご参加ください。
会費 3,000円 (参加費と一緒に申し込みください。)

第2日 6月19日(土)

セッション1 (9:30~11:10)

ダウンサイジングと分散処理

- ・ダウンサイジング実現への課題
- ・ダウンサイジング化による企業内情報処理教育の改革
- ・分散コンピューティングの体系的発展への課題
- ・分散ネットワーク経営とダウンサイジング
- ・パーソナル情報処理環境の概念とこれを支援する効果的なネットワークシステム

司会 内木 哲也(東洋大)
 益田 美貴(住友信託銀行)
 平野 一路(日本IBM)
 富田 幸子(日本IBM)
 米川 清(熊本商大)
 松本 良治(大阪経済大)

招待講演3 (11:10~12:10)

- ・新しい情報化の潮流について

司会 平野 吉延(日本ユニシス)
 松岡進士郎(大林組)

—昼食(60分)—

セッション2 (13:10~15:30)

システム設計・開発技法

- ・情報システム開発における思考スキルを養うために
- ・企業情報モデルのマルチメディア表現方法とその効用
- ・構造化分析設計技法の教育と適用
- ・基幹システム再構築における問題点と効率化のアプローチ
- ・ユーザ用仕様記述言語による仕様の正当性検証方式
- ・データベース設計とプログラム設計を統合するデータ中心のソフトウェア開発法と支援システム
- ・協調作業を支援する情報システムの機能モデルについて

司会 初瀬川 茂(東芝)
 神沼 靖子(帝京技科大)
 沢 恒雄(日本IBM)
 斎 直人, 田中 清, 山本修一郎(NTT)
 田村 泰彦(富士通システム総研)
 上田 佳寛(ATR)

橋本 正明(九工大), 鬼塚 真(NTT), 横田 和久(ATR), 関根 純, 中川 優(NTT)

桑名 栄二, 尾上 裕子, 坂本 泰久(NTT)

—休憩(20分)—

セッション3 (15:50~17:30)

システム開発事例

- ・「新幹線型OA」における人間系諸課題への適用解法について
- ・UNIXベースのクライアント/サーバ型大規模ビジネスシステムの構築
- ・中規模大学図書館業務のUNIX-DBMSによる電算化の試み
- ・CS情報システムの構築—新会計システムの事例研究
- ・医療用マルチメディアシステム

司会 中嶋 聞多(文教大)
 山形 毅章(西日本旅客鉄道)
 竹並 輝之, 中島 雅博(東芝)
 尾崎 敬二(九州東海大)
 宗澤 拓郎, 山口 貞敏(味の素システムテクノ)
 飯塚 昌彦, 小川 研一, 前沢 宏忠(独協医科大),
 降矢 典雄, 島田 一雄(都立航空工業高専), 一条 博, 田中 正史(ケンウッド)

閉会(17:30)

「利用者指向の情報システムシンポジウム」

参加申込書

平成5年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

- 参加費 (該当するものを○でかこむ)
 会員 10,000 円, 学生 1,500 円, 非会員 15,000 円
 *参加費には, 資料代が含まれています,

○論文集のみ (5,000 円, 送料込) _____冊

○送金方法 (該当するものを○でかこむ)

合計 _____円を

- a) 当日, 会場受付にて支払います.
- b) 現金書留で _____月 _____日送金します.
- c) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で

- 1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562
- 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 _____様

*請求書類の必要な方はお申し出ください.

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (FAX も可)

情報処理学会 シンポジウム係
160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏 名 _____

会員番号

殿 (_____)

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「Groupware'93 シンポジウム」開催について

——マルチメディアと通信インフラストラクチャ——

現在、映像・音声・データなどを同時に扱えるマルチメディアコンピューティング技術の進展と通信ネットワークの高速化・広帯域化によって、人間が日常行う協調作業を、時間と空間の壁を超えて作業空間を共有し、協調して作業を行う環境に関する研究開発が活発化しつつあります。しかし、人間の協調作業は人間の振舞い、組織や社会のあり方に深く関係しており、これを支援するシステムは、技術面だけでなく、行動科学、心理学といった人間的側面、さらに組織構造論や社会心理学といった社会的側面をも考慮したシステムであることが理想です。

グループウェア研究会は学際的な側面から協調行動支援に関する研究発表、議論を行っており、その一環としてシンポジウムを開催することとなりました。

平成4年10月23日慶応義塾大学において「グループウェア'92—グループウェアはマルチサイトオフィスのインパクトとなるか—」と題するシンポジウムを開催しました。情報、通信分野の研究者、技術者のみならず社会学、心理学、経営・組織論など工学以外の分野からも多数の参加を得、活発な討論を行いました。

今回は、その第2回として人間の社会活動を支える通信インフラストラクチャと情報処理システムのあり方を、技術的、人間的、社会的の各側面から議論し、今後の動向を展望します。ご興味のある方の多数のご参加をお待ちしております。

日 時 平成5年7月8日(木) 10:00~17:00
場 所 工学院大学3階312教室(新宿区西新宿)
主 催 情報処理学会グループウェア研究会
参 加 費 会員10,000円 非会員15,000円 学生3,000円
 論文集のみ4,000円(送料込み)
申込締切 平成5年6月21日(月)(定員100名になり次第締め切らせていただきます。)
申 込 先 160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F
 (社)情報処理学会シンポジウム係

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

基調講演 (10:00~10:20)

通信インフラストラクチャの歴史的転換期 松下 温 (慶大)

招待講演1 (10:20~11:10)

グループウェア実現のためのマルチメディアネットワークと分散処理技術 阪田 史郎 (NEC)

招待講演2 (11:10~12:00)

グループウェアからみた通信ネットワークの展開と課題 木下 研作 (NTT)

パネル討論 (13:30~17:00)

人間・社会は技術に何を求めるか? 座長: 松下 温 (慶大)

概要: 協調行動の支援に関して、マルチメディアと通信インフラストラクチャの技術進展は技術課題の彼方にある人間の視点、社会の視点を必然的に顕在化します。グローバルな視点から新しい社会、新しい時代は技術に何を求めるかを「技術の前に人間ありき、技術の前に社会ありき」という観点から、組織科学、行動科学、心理学などの権威を含めて加わっていただき議論します。

パネリスト 会津 泉 (国際大), 落合 勲 (信州短大), 川崎 賢一 (駒沢大)

野中郁次郎 (一橋大), 米田 英一 (東芝), 未 定 (郵政省)

「Groupware'93 シンポジウム」
参加申込書

平成5年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

- 参加費（該当するものを○で囲む）
 会員 10,000円 非会員 15,000円 学生 3,000円
 *参加費には資料代が含まれています。

○論文集のみ（4,000円，送料込） _____冊

○送金方法（該当するものを○で囲む）

合計 _____円を

- a) 当日，会場受付にて支払います。
- b) 現金書留で _____月 _____日送金します。
- c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

- 1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562
- 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAXも可）

情報処理学会 シンポジウム係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

.....
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先〒 _____

機関・
部課名 _____

会員番号

フリガナ
氏名 _____

殿 (_____)

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「コンピュータシステム・シンポジウム」の論文募集

コンピュータの高性能化、ネットワークの発達、コンピュータ利用形態の多様化などにより、今日、システムソフトウェア、オペレーティングシステム(OS)に新しい技術が求められるようになってきています。システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会では、過去4回、標記シンポジウムを開催し、多数の参加を仰ぎ、大きな成果を得てまいりました。この度は、システムソフトウェアおよびOSの研究・開発に携わる人、利用する人が一堂に会して、幅広い議論を行うことを目的に、下記の要領でシンポジウムを開催いたします。下記2テーマの小特集も設定いたします。多数の論文投稿をお待ちしております。

日時 平成5年10月20日(水)～21日(木)
場所 工学院大学3階312教室(新宿区西新宿)

トピックス 小特集：(1)分散/超並列システムのシステムソフトウェア

(2)コンティニューアス・メディアを対象としたシステムソフトウェア

(小特集以外にもシステムソフトウェアに関連したテーマ全般を対象とします)

分散OS, マルチプロセッサOS(並列OS), リアルタイムOS, ファイルシステム, 分散開発環境, マルチメディアシステム, データベース・オペレーティングシステム, ユーザインターフェースとOS, 高性能化, 高信頼化, セキュリティ, OSの運用・管理, 性能評価, マイクロカーネルなど

- 実施方法**
- (1)応募される場合は、論文内容がよくわかるように記述した論文概要(A4判用紙2枚)を5部提出してください。
 - (2)応募論文は、論文概要をもとに、プログラム編成委員会において審査します。採用されたものについては、本論文(A4判用紙8枚以内、カメラレディなもの)を提出してください。
 - (3)完成された研究論文だけでなく、新しい提案や問題提起など、さまざまな性格のオリジナル論文を歓迎します。
 - (4)関心の高いテーマについて、チュートリアル講演、招待講演、パネル討論会などを予定しています。
 - (5)スケジュール

論文概要提出締切	平成5年6月18日(金)
採否通知	平成5年7月19日(月)までに通知
本論文提出締切	平成5年9月17日(金)

シンポジウム実行委員長 鈴木 則久(日本IBM 東京基礎研究所)

プログラム編成委員会 清木 康(委員長, 筑波大), 石川 裕(電総研), 笠原 博徳(早大),
 加藤 和彦(筑波大), 清水謙多郎(電通大), 徳田 英幸(慶大), 萩野 達也(慶大),
 横手 靖彦(ソニーコンピュータサイエンス研究所)

連絡先・論文提出先

160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F
 (社)情報処理学会シンポジウム係
 Tel.03(5322)3535 FAX 03(5322)3534

「学会誌特集セミナー：BDD（二分決定グラフ）」

参加申込書

平成5年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員，賛助会員 15,000円 非会員 20,000円 学生 5,000円

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____円を

a) 当日，会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____月 _____日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

1. 第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAXも可）

情報処理学会 セミナ係 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

.....
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏名 _____

会員番号

殿 (_____)

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

情報処理学会シンポジウム, 講習会論文集リスト (90,91,92,93 年版)

研究会名	[論文集名]	開催日	値段(消費税込)送料	申込
[シンポジウム]				
NL	自然言語処理	93・1	¥4000 (送料込)	
MIC	マイクロコンピュータアーキテクチャ	91・11	¥4000 (送料込)	
DBS	アドバンスト・データベースシステム	92・12	¥6000 (送料込)	
OS	コンピュータ・システム	91・3	¥5000 (送料込)	
	コンピュータ・システム	92・10	¥5000 (送料込)	
CV	画像の認識・理解 I, II	92・7	¥8000 (送料込)	
DA	DA シンポジウム'91	91・8	¥4000 (送料込)	
	DA シンポジウム'92	92・8	¥5000 (送料込)	
DPS	B-ISDN 時代におけるマルチメディア通信と分散処理	91・11	¥4000 (送料込)	
CG	グラフィクスと CAD	91・11	¥5000 (送料込)	
	研究会設立 10 周年記念 CG 作品集	91・11	¥5000 (送料込)	
IS	利用者指向の情報システム	91・11	¥5000 (送料込)	
FI	1990 情報学	90・1	¥5000 ¥400	
	1992 情報学	92・1	¥5000 (送料込)	
CE	情報専門学科のコアカリキュラム	91・12	¥5000 (送料込)	
IM	メディアと情報処理	92・10	¥5000 (送料込)	
PS	第 31 回プログラミング	90・1	¥3000 ¥400	
	第 32 回プログラミング	91・1	¥4000 (送料込)	
	第 33 回プログラミング	92・1	¥5000 (送料込)	
	新しいコンピューティングとプログラミング	92・7	¥5000 (送料込)	
	第 34 回プログラミング	93・1	¥5000 (送料込)	
[講習会]				
DBS	アドバンスト・データベースシステム	92・12	¥3000 (送料込)	
AI	知識ベースシステムにおける高速推論技術	92・2	¥4000 (送料込)	
SYM	ガーベジコレクション	92・11	¥4000 (送料込)	
ARC	並列アルゴリズムと並列アーキテクチャ理論と実際	92・6	¥4000 (送料込)	
DPS	コンピュータ通信ワークショップ	91・7	¥6000 (送料込)	
	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	93・3	¥4000 (送料込)	
CG	人物のモデリングと表示技術	91・9	¥4000 (送料込)	
	第 45 回全国大会チュートリアル・セッション	92・10	¥3000 (送料込)	
	第 46 回全国大会チュートリアル・セッション	93・3	¥4000 (送料込)	

(平成 5 年 5 月 15 日現在)

*全国大会のバックナンバーもあります。

*問合せ申込み先: 情報処理学会 図書係 野寺 Tel.03(5322)3535 FAX 03(5322)3534

*連絡先

☐	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

様

請求書 _____ 通
 見積書 _____ 通
 納品書 _____ 通 合計金額 ¥ _____
 請求宛名 _____

Tel. _____ () _____

平成 年 月 日

会
生

ACM, IEEE-CS 入会の特典

情報処理学会は ACM と Joint membership, IEEE Computer Society (CS) とは affiliate Membership (準会員) の契約をそれぞれ結んでいます。しかし、その内容あるいは特典は少々趣を異にしますので、比較説明いたします。入会申込書は学会事務局にありますのでご利用ください(郵送希望の際は 72 円切手を同封ください)。

ACM 入会特典	IEEE-CS 入会特典
正会員会費 (US\$ 75) が 2 割引 (US\$ 62) になります。 ● Communication of the ACM (月刊) の配布。 ● ACM の journal や transactions などの刊行物を会員価格 ^{#1)} 入手できる。 ● ACM の conference は会員参加費で参加できる。 ● Special Interest Groups (SIGs) に会員参加費で加入できる。	正会員入会の特典はありません。(正会員会費 US\$ 106) 準会員の特典があります。(準会員会費 US\$ 58) ● COMPUTER Magazine (月刊) の配布。 ● CS の conference は正会員参加費です。 ● CS の Magazine, Transactions などの刊行物は正会員価格で入手できる。(ただし Spectrum は除く) ^{#2)} ● Technical Committee に参加できる。
準会員 (affiliate member) の制度はありません。	その他の特典 ● 準会員にならない場合でも情報処理学会会員は所定の割引価格で CS の Magazine, Transactions を購入可 ^{#2)} 。

注 1) ACM の主要刊行物

Communication of the ACM	(月刊)	(会費に含む)
Computing Surveys	(季刊)	US\$ 16.00
Journal of ACM	(季刊)	23.00
Computing Reviews	(月刊)	35.00
ACM Guide to Computing Literature	(年刊)	98.00
Transactions on :	(季刊)	
Mathematical Software/TOMS		27.00
Database Systems/TODS		26.00
Programming Languages and Systems/TOPLAS		25.00
Programming Languages and Systems/TOPLAS		25.00
Graphics/TOG		31.00
Office Information Systems/TOOIS		27.00
Computer Systems/TOCS		27.00

注 2) IEEE-CS の主要刊行物

Magazine :	会員/準会員	情報学会
	(会費に含む)	割引価格
Computer	(月刊)	40.00
Computer Graphics & Applications	(隔月刊)	47.00
Design & Test of Computers	(季刊)	40.00
Expert	(隔月刊)	36.00
Micro	(隔月刊)	42.00
Software	(隔月刊)	47.00
IEEE Annals of the History of Computing	(季刊)	42.00
Parallel and Distributed Technology	(季刊)	36.00
Transactions on :		
Computers	(月刊)	45.00
Pattern Analysis and Machine Intelligence	(月刊)	45.00
Software Engineering	(月刊)	44.00
Knowledge and Data Engineering	(隔月刊)	45.00
Parallel and Distributed Systems	(月刊)	47.00
VLSI Systems	(季刊)	22.00
IEEE/ACM Transactions on Networking	(隔月刊)	40.00

アルゴリズム研究会小規模国際会議
論文募集

ISAAC '93

Fourth Annual International Symposium
on Algorithms and Computation

Hong Kong, December 15-17, 1993

CALL FOR PAPERS

Symposium Co-Chairs:
N.V. Balasubramanian, CPHK, H.K.
Francis Chin, HKU, H.K.

Program Committee Co-Chairs:
Kam Wing Ng, CUHK, H.K.
Prabhakar Raghavan, IBM, USA

Program Committee:
Pranay Chaudhury, UNSW, Australia
Ding-Zhu Du, U. of Minnesota, USA
Wen-Lian Hsu, Academia Sinica, Taiwan
Hiroshi Imai, U. of Tokyo, Japan
Maria Klawe, U. of British Columbia, Canada
Rao Kosaraju, Johns Hopkins University, USA
R.C.T. Lee, Tsing Hua University, Taiwan
J. van Leeuwen, U. of Utrecht, The Netherlands
Christos Papadimitriou, UC San Diego, USA
Martin Tompa, U. of Washington, USA
Eli Upfal, IBM, USA
Osamu Watanabe, TIT, Japan

Organizing Committee:
Siu Wing Cheng, HKUST, H.K.
Horace Ip, CPHK, H.K.
Tak Wah Lam, HKU, H.K.
Karl Leung, HKP, H.K.
K.F. Suen, HKBC, H.K.

Invited Speakers:
Allan Borodin, U. of Toronto, Canada
Tom Leighton, MIT, USA
Mihalis Yannakakis, AT&T, USA

The Symposium is intended to provide for a forum for researchers working in algorithms and theory of computation. The first one was held in 1990 in Tokyo, Japan, as SIGAL International Symposium on Algorithms; the second one was held in 1991 in Taipei, Republic of China, as Second Annual International Symposium on Algorithms; and the '92 one in Nagoya, Japan, as Third International Symposium on Algorithms and Computation.

Scope

Papers presenting original research in the areas of design and analysis of algorithms, computational complexity, and theory of computation are being sought. Typical, but not exclusive, topics of interest include:

- Automata, languages and computability
- Algorithms (combinatorial/graph/geometric/randomized)
- VLSI and parallel algorithms
- Networks and distributed algorithms
- Theory of learning and robotics
- Number theory and cryptography

Submission

Authors are requested to submit 15 copies (in English) of an extended abstract by July 5, 1993 to one of the program committee chairs. The extended abstract should include the E-mail address of the contact person and be printed on at most five double-spaced and double-sided pages.

Dr. Prabhakar Raghavan
IBM Research Division
T.J. Watson Research Center
Yorktown Heights
N.Y. 10598
USA

Dr. Kam Wing Ng
Department of Computer Science
The Chinese University of Hong Kong
Shatin
Hong Kong

Important Dates

Extended abstract due
Acceptance/rejection notification
Camera-ready version due
Conference

July 5, 1993
September 15, 1993
October 4, 1993
December 15-17, 1993

This conference is supported by:
The Croucher Foundation
Epson Foundation
Hong Kong Computer Society
Lee Hysan Foundation
IEEE Society Hong Kong Section Computer Chapter
The Hong Kong Chapter of ACM
Information Processing Society of Japan (SIGAL)

Contacts for Information:

General enquiry (852) 788 8614
Program enquiry (852) 603 5024
Registration (852) 559 8447
Local arrangement (852) 788 8614

E-mail
csbalu@cphkvx.bitnet
kwng@cs.cuhk.hk
twlam@csd.hku.hk
cship@cphkvx.bitnet



ADVANCE PROGRAM AND REGISTRATION



7th ACM International Conference on Supercomputing Tokyo, Japan, July 20-22, 1993

Sponsored by
Association for Computing Machinery/SIGARCH
in association with Waseda University

July 20-22, 1993
International Conference Center,
Waseda University, Tokyo, Japan

The 7th ACM International Conference on Supercomputing is a forum for engineers and scientists through the world to exchange ideas and research results related to high-performance supercomputing systems. The sessions have been scheduled around the areas of processor architectures, compilers, software tools, performance evaluation, numerical algorithms and applications.

General Chair: Yoichi Muraoka *Waseda University*

Program Chair:

Hidehiko Tanaka
U. of Tokyo

Program Committee:

- A. Agarwal, *MIT*
- F. Allen, *IBM*
- D. Bailey, *NASA Ames Res. Center*
- O. Babaoglu, *U. of Bologna*
- R. Brent, *Australian Nat. U.*
- I. Bucher, *Los Alamos Nat. Lab.*
- N. Carriero, *Yale U.*
- E. Davidson, *U. of Michigan*
- J. C. M. Delgado, *INESC*
- J. Gurd, *U. of Manchester*
- R. Halstead, *DEC*
- H. Hayashi, *Fujitsu Lab. Ltd.*
- T. Hey, *U. of Southampton*
- M. D. Hill, *U. of Wisconsin*
- F. Hossfeld, *Res. Center Juelich (KFA)*
- R. Ibbett, *U. of Edinburgh*
- W. Jalby, *IRISA*
- Y. Kanada, *U. of Tokyo*
- C. Koelbel, *Rice U.*
- J. Nang, *KAIST & Fujitsu Lab. Ltd.*
- T. Nakata, *NEC Corp.*
- C. M. Pancake, *Oregon State U.*
- D. Reed, *U. of Illinois*
- R. S. Schrieber, *NASA Ames Res. Center*
- K. Sevcik, *U. of Toronto*
- M. Shimasaki, *Kyushu U.*
- H. J. Sips, *Delft U. of Tech.*
- M. Sugie, *Hitachi, Ltd.*
- N. Suzuki, *IBM*
- Y. M. Teo, *Nat. U. of Singapore*
- C.A.Thole, *GMD*
- M. Tokoro, *Keio U.*
- S. Tomita, *Kyoto U.*
- M. Valero, *U. Politecnica de Catalunya*
- C. Wadsworth, *Rutherford Appleton Lab.*
- D. Walker, *Oak Ridge Nat. Lab.*
- H. A. G. Wijshoff, *Utrecht U.*
- W. Wulf, *U. Virginia*
- A. Yonezawa, *U. of Tokyo*
- S. A. Zenios, *U. of Pennsylvania*
- X. Zhou, *Beijing Inf. Tech. Inst.*
- H. Zima, *U. of Vienna*

Region Chairs:

- J.J. Dongarra, *U. of Tennessee North & South America*
- R. Perrott, *Queen's U. Europe & Africa*
- T. Yuba, *Electrotechnical Lab. Japan & Far East*

Finance Chair: Mitsuo Ishii, *Fujitsu Lab. Ltd.*

Publicity Chair: Nobuhiko Koike, *NEC Corp.*

Local Arrangements Chair: Yoshiaki Fukazawa, *Waseda Univ.*

For further details, please contact:

Yoshiaki Fukazawa (Local Arrangements Chair)
Department of Information and Computer Science,
Waseda University
3-4-1 Ohkubo, Shinjuku-ku, Tokyo 169, Japan
Fax: +81-3-3200-1681
E-mail: fukazawa@cfi.waseda.ac.jp

Tuesday, July 20

10:30 - 11:00 : Opening Address -
Yoichi Muraoka (Waseda Univ.)
Program Committee Report -
Hidehiko Tanaka (Univ. of Tokyo)

11:00 - 12:00 : Keynote Speech -
John Gurd (University of Manchester, U.K.)
12:00 - 13:30 : Lunch
13:30 - 15:00 : Parallel Sessions 1 and 2

Session 1: Software Managed Memory System

Chair: T. Yuba (ETL)

Graph Contraction for Physical Optimization Methods: A Quality-Cost Tradeoff for Mapping Data on Parallel Computers,
R. Ponnusamy, A. N. Choudhary (Syracuse Univ.)

Managing Pages in Shared Virtual Memory Systems: Getting the Compiler into the Game,
E. D. Granston, H. A. G. Wijshoff (Leiden Univ.)

The EM-4 Under Implicit Parallelism,
L. Bic (UC. Irvine)

Session 2: Compiler Technique I.

Chair: M. Shimasaki (Kyushu Univ.)

Toward a Methodology of Optimizing Programs for High-Performance Computers,
R. Eigenmann (Univ. of Illinois)

Data Stream Control Optimization in Dataflow Architectures,
S. Kyo (NEC), S. Sekiguchi and M. Sato (ETL).

The Effectiveness of Decoupling,
P. Bird, A. Rawsthorne, N. P. Topham (Univ. of Manchester)

15:00 - 15:30 : Coffee Break

15:30 - 17:00 : Parallel Sessions 3 and 4

Session 3: Instruction Prefetching

Chair: S. Tomita (Kyoto Univ.)

Speculative Prefetching,
Y. Jegou, O. Temam (IRISA)

Increasing the Instruction Fetch Rate via Multiple Branch Prediction and a Branch Address Cache,
T. Yeh, D. T. Marr and Y. N. Patt (Univ. of Michigan)

Speculative Execution and Branch Prediction on Multiprocessors,
K. B. Theobald, G. R. Gao and L. J. Hendren (McGill Univ.)

Session 4: Compiler Technique II

Chair: A. Yonezawa (Univ. of Tokyo)

PARADIGM: A Compiler for Automatic Data Distribution on Multicomputers,
M. Gupta and P. Banerjee (IBM T. J. Watson)

A Massively Parallel Optimizer for Algorithms,
S. Aluru and J. L. Gustafson
(Ames Lab. Iowa State Univ.)

Static and Dynamic Evaluation of Data Dependence Analysis,
P. M. Petersen and D. A. Padua (Univ. of Illinois)

17:00 - 19:00 : Reception

Wednesday, July 21

9:30 - 10:30 : Session 5 and 6

Session 5: SIMD Machines

Chair: M. Sugie (Hitachi)

Performance Analysis of Four SIMD Machines,
Rod Fatoohi (NASA Ames Research Center)

Processor Autonomy on SIMD Architectures,
P. J. Narayanan (CMU)

Session 6: Compiler Technique III

Chair: M. Sato (ETL)

Extract Side Effects for Interprocedural Dependence,
P. Tang (The Australian National Univ.)

CMAX: A Fortran Translator for the Connection Machine,
Gary Sabot and Skef Wholey (Thinking Machines Corp.)

10:30 - 11:00 : Coffee Break

11:00 - 12:00 : Session 7 and 8

Session 7: Processor Architecture

Chair: L. Bic (UC. Irvine)

Scalable Parallel Memory Architecture with the Skew Scheme,

T. Sakakibara, K. Kitai, T. Isobe, S. Yazawa, T. Tanaka, Y. Inagami and Y. Tamaki. (Hitachi)

EMC-Y: Parallel Processing Element Optimizing Communication and Computation,

Y. Kodama, Y. Koumura, M. Sato, H. Sakane, S. Sakai and Y. Yamaguchi (ETL)

Session 8: Software Tools for Parallel Processing

Chair: Dr. Detert (Forschungszentrum Juelich GmbH, GERMANY)

Toward Automatic Distribution,

Paul Feautrier (Univ. de Versailles St-Quentin)

Dynamic Control of Performance Monitoring on Large Scale Parallel Systems,

Jeffery K. Hollingsworth and Barton P. Miller (Univ. of Wisconsin-Madison)

12:00 - 13:30 : Lunch

13:30 - 15:00 : Invited Session

Invited Session

Chair: H. Tanaka (Univ. of Tokyo)

Anatomy of a Message in the Alewife Multiprocessor,

J. Kubiawicz and A. Agarwal (MIT)

A Static Parameter based Performance Prediction Tool for Parallel Programs,

T. Fahringer, H. Zima (Univ. of Vienna)

Empirical Study of Latency Hiding on a Fine-grain Parallel Processor,

K. Hiraki (Univ. of Tokyo), T. Shimada and S. Sekiguchi (ETL)

15:00 - 15:30 : Coffee Break

15:30 - 17:00 : Session 9 and 10

Session 9: Communication Architecture

Chair: H. Hayashi (Fujitsu Laboratories Ltd.)

The NuMesh: A Modular, Scalable Communications Substrate,

Steve Ward, Karim Abdalla, Rajeev Dujari, Michael Fetterman, Frank Honore, Ricardo Jenez, Philippe Laffont, Ken Mackenzie, Chris Metcalf, Milan Minsky, John Nguyen, John Pezaris,

Gill Pratt and Russel Tessier (MIT)

Evaluating the Communication Performance of MPPs Using Iterative Sparse Matrix Multiplications,

Eric L. Boyd and E. S. Davidson (The Univ. of Michigan)

Super-Threading: Architectural and Software Mechanisms

for Optimizing Parallel Computation,

S. Sakai, K. Okamoto, H. Matsuoka, H. Hirono, (RWCP) Y. Kodama and M. Sato (ETL)

Session 10: Applications I.

Chair: T. Nakata (NEC)

Parallel Direct Solution of Large Sparse Systems in Finite Element Computations,

H. X. Lin, J. H. Sips (TU Delft)

Parallelizing an Oil Refining Simulation:

Numerical Methods, Implementations and Experience, X. Zhang (The Univ. of Texas at San Antonio)

Parallel Eigenanalysis for Nested Grids,

G. Pini, G. Gambolati (Univ. di Padova)

Thursday, July 22

9:30 - 10:30 : Session 11 and 12

Session 11: Vector Processor

Chair: A. Agarwal (MIT)

Parallel Processing Architecture for the HITACHI S-3800 Shared-Memory Vector Multiprocessor,

K. Kitai, T. Isobe, Y. Tanaka, Y. Tamaki, M. Fukagawa, T. Tanaka and Y. Inagami (Hitachi)

A Scalar Architecture for Pseudo Vector Processing based on Slide-Windowed Registers,

H. Nakamura, H. Imori, K. Nakazawa, T. Boku, I. Nakata, Yamashita, (Univ. of Tukuba)

H. Wada and Y. Inagami (Hitachi)

Session 12: Performance Evaluation

Chair: Y. Kanada (Univ. of Tokyo)

A Micro-vectorprocessor Architecture

- Performance Modeling and Benchmarking -

T. Hashimoto, K. Murakami, T. Hironaka and H. Yasuura (Kyushu Univ.)

*Performance Prediction of Parallel Processing Systems:
The PAMELA Methodology*
A. J. C. van Gemund (Delft Univ. of Technology)

10:30 - 11:00 : Coffee Break

11:00 - 12:00 : Session 13 and 14

Session 13: Cache System
Chair: N. Suzuki (IBM)

*Dynamic Switching of Coherent Cache Protocols
and its Effects on Doacross Loops,*
T. Matsumoto and K. Hiraki (Univ. of Tokyo)

*Effects of Main Memory Latencies on the
Performance of Nonblocking Caches,*
Koray Oner and Michel Dubois (Univ. of Southern California)

Session 14: Application II.
Chair: J. Nang (KAIST)

*A Cellular Automaton Methodology for
Solving the Wave Equation,*
J. B. Cole, R. A. Krutar, D. B. Creamer and S. K. Numrich. (Naval Research Lab., USA)

*Parallel Two-Level Simulated Annealing:
Applications to Molecular Conformation*
Guo-Liang Xue (Univ. of Minnesota)

12:00 - 13:30 : Lunch

13:30 - 15:00 : Session 15 and 16

Session 15: File System
Chair: M. Tokoro (Keio Univ.)

*An Experimental Performance Evaluation of
Touchstone Delta Concurrent File System,*
R. Bordawekar, A. N. Choudhary and J. M. del Rosario (Syracuse Univ.)

A High-Performance Parallel Database Architecture,
C. H. C. Leung, H. T. Ghogomu (Univ. of London)

File Archive Activity in a Supercomputing Environment,
D. W. Jensen and D. A. Reed (Univ. of Illinois)

Session 16: Matrix Computation
Chair: X. Zhou (BeiJing Information Technology Institute)

A proposal of Level 3 Interface for Band and

Skyline Matrix Factorization Subroutine,
H. Samukawa (IBM, Japan)

*Partitioning the Statement per Iteration Space Using
Non-Singular Matrices*
E. Ayguade, J. Torres (Univ. Politecnica de Catalunya)

Compilation Techniques for Sparse Matrix Computations,
H. A. G. Wijshoff, A. J. C. Bik (Leiden Univ.)

15:00 - 15:30 : Coffee Break

15:30 - 17:30 : Panel

Supercomputing in 1998
Moderator: R. Perrott (Queen's University, U.K)

ICS 93 Registration Information

To register, please complete this form and send with payment to:

YOSHIAKI FUKAZAWA (Registration Chair),
Department of Information and Computer Science, Waseda University
3-4-1 Ohkubo, Shinjuku-ku, Tokyo 169, Japan
Fax: +81-3-3200-1681 Email: fukazawa@cfi.waseda.ac.jp

Name _____ ACM Membership Number _____
Mailing Address _____
City _____ State _____
Country _____ Postal Code _____
Affiliation _____
Phone _____ Fax _____
Email _____

Registration Fee

Please check the appropriate fee.

Advanced(Received by June 30, 1993) Late Registration
[] Member ¥39,000 or \$300 [] Member ¥45,000 or \$350
[] Non-Member ¥45,000 or \$350 [] Non-Member ¥52,000 or \$400
[] Student ¥19,000 or \$150 [] Student ¥19,000 or \$150

In Japan, please pay by Yen.

Payment Method

[] Credit Card
[] VISA [] MasterCard [] American Express [] Diner's Club
Card Number _____ Exp. Date _____
Cardholder's Name _____
Signature _____

[] Bank Transfer through the _____ to the account
name of: (your Bank Name)
Account Name : ICS 93
Account Number : 273-963108
SUMITOMO BANK, TAKADANOBABA BRANCH
(Please attach a copy of your Bank Transfer Order)

[] Check payable to ICS 93

Notes:

- The registration fee includes a copy of the proceedings, coffee, and the reception. The Student fee does not include the reception.
- Please do not combine registration fee and hotel deposit in the same payment.

Cancellations:

Registration cancellations must be received in writing by the registration chair at the above address. If a refund is due, it will be made after the symposium:

- Cancellation by June 30, 1993: 75% refund
- Cancellation after June 30, 1993: No refund

会
告

第24回画像工学コンファレンス論文募集

— Japan Imaging Technology '93 —

画像工学コンファレンスは、1970年に第1回が開催されてから今回で24回を迎えることになりました。その間、関連学会・研究会の共通の研究発表・討論の場として、日本の画像関係の研究開発に大いに寄与してまいりました。本年も新たな発展を期し第24回画像工学コンファレンスを開催することにいたしました。各関連学会・研究会の会員諸氏からの積極的な発表・応募をお願いします。

日時 1993年12月 8日(水)・ 9日(木)・10日(金)

場所 ABC会館ホール(東京・港区・芝公園)

構成 招待講演と応募による一般講演(口頭発表、ポスタ発表)によりおこないます。ポスタ発表とはポスタ会場の決められた場所での図表・写真・実物等を示し、興味を持つ聴衆と自由に質疑・討論を交わしながら研究発表をおこなうものです。招待および一般講演については「募集論文の内容」欄の項目に沿い約10セッションにまとめる予定です。また本年は『新製品・新システム開発事例』に関する特別セッションを設ける予定です。講演はすべてオーディオビジュアル機器、三次元スライドなどを用いたデモンストレーションができます。なおポスタ発表のなかで優秀な発表に対して賞を贈ります。

募集論文の性格 論文として未発表のものに限ります。ただし口頭発表や研究速報などは差支えありません。

募集論文の内容 画像に関する諸技術：①画像入力、ディスプレイ、記録、印刷等に関する画像エレクトロニクス技術 ②視聴覚、画像符号化、画像計測、画像処理、コンピュータビジョン、三次元画像、コンピュータグラフィックス、映像表現等に関する画像情報技術 ③放送・通信・医用・産業・教育などの分野への応用

応募資格 とくにありません。

参加費 1万2千円(加盟学会会員) 1万5千円(非会員) 6千円(学生) 論文集を含みます

応募論文の審査 応募論文はプログラム委員会において申込時提出の内容概要を審査いたします。また、プログラム編成上、口頭発表とポスタ発表との変更をお願いすることがあります。

発表形式・時間 口頭発表：質疑応答を含め20分(予定) ポスタ発表：ポスタ会場での発表討議90分(予定)

講演申込方法 A4横書でタイトル・著者・図表などを含め2枚以内の内容概要と、必要事項を記入した講演申込書(コピー可)を下記の送付先にお送りください。

講演申込締切 1993年7月16日(金) 必着

論文集原稿 採択論文については一般、ポスタとも、図・表・写真を含め7000字以内のカメラレディ原稿(タイプまたはワープロ)を提出していただきます。また、希望によりカラー印刷のページを設けます(ただし実費自己負担)。

原稿やスライドの作成方法などの詳細は8月中旬、論文採否通知とともに連絡します。

論文集原稿締切 1993年10月29日(金) 必着

主催 第24回画像工学コンファレンス実行委員会

(担当 電子情報通信学会・パターン認識理解研究専門委員会・画像工学研究専門委員会)

加盟学会・委員会 応用物理学会日本光学会、テレビジョン学会・情報ディスプレイ研究委員会・視聴覚技術研究委員会・画像通信システム研究委員会・画像処理コンピュータビジョン研究委員会、画像応用研究委員会、電気学会・電子デバイス技術委員会・光量子デバイス技術委員会、電子情報通信学会・画像工学研究専門委員会・パターン認識理解研究専門委員会、日本ME学会、画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本写真測量学会、情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会、日本印刷学会、レーザー学会、日本医療情報学会、医用画像情報学会、計測自動制御学会・パターン計測部会、日本非破壊検査協会、日本医用画像工学会、SPIE日本支部、三次元映像のフォーラム。

送付先・問い合わせ先 〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル 連企画気付

「第24回画像工学コンファレンス事務局」 ☎03(3433)2543 FAX 03(3433)3904

題目			第24回画像工学コンファレンス講演申込書
発表形式の希望 <input type="checkbox"/> ポスタ <input type="checkbox"/> 口頭 <input type="checkbox"/> どちらでも			〒 所在地
使用機器 <input type="checkbox"/> VTR (VHS) <input type="checkbox"/> スライド (35mm)	☎ :	機関名	
<input type="checkbox"/> OHP <input type="checkbox"/> パソコン(PC) <input type="checkbox"/> 三次元スライド <input type="checkbox"/> その他 ()	FAX :	所属	
.....			連絡者氏名

会 告

支部だより

平成5年度支部総会について

各支部の通常総会が下記のとおり開催されますので、ぜひご出席ください。なお、各支部総会の案内状は、支部内の正会員各位に別途郵送されますが、ご欠席の場合には必ず委任状をご返送ください。

支部	日時	会場	講演会
北海道	4月23日(金) 17:00~18:00	北海道大学学術交流会館 (札幌市北区北8条西5丁目)	情報処理北海道シンポジウム '93 9:00~17:00 22日(13:00~14:40) 特別講演 北海道の自然と生物 坂本与市(北海道文理科短大) 23日(13:00~15:00) 招待講演 ①ロボティクスの現状と将来 嘉数侑昇(北大) ②コンピュータ・グラフィクスとアート 竹村伸一(初代北海道支部長)
東北	5月14日(金) 13:30~15:00	東北大学工学部電気・情報系 (仙台市青葉区荒巻字青葉)	15:20~17:00 効率的な証明に関する最近の発展 伊東利哉(東工大)
東海	5月11日(火) 14:30~16:00	愛知厚生年金会館 (名古屋市中千種区池下 2-63)	16:00~17:30 感覚と感性 杉江 昇(名大)
関西	5月11日(火) 13:30~14:00	NTT情報文化センターホール (大阪市北区堂島 3-1-21 NTT堂島ビル)	14:00~16:00 ①バーチャル・リアリティと臨場感通信 一研究の現状と動向一 寺島信義(ATR通信システム研究所) ②光ソリトン通信 長谷川晃(阪大)
中国	5月14日(金) 14:30~15:00	中国電力(株)2号館8階 大会議室 (広島市中区小町 4-33)	15:00~16:30 バーチャルリアリティ技術の現状とその将来性 野村淳二, 今村佳世(松下電工)
四国	4月16日(金) 14:30~15:00	徳島厚生年金会館 (徳島市南前川町 3-1-22)	15:00~16:00 B-ISDN の現状と動向について 井上 洋(沖電気)
九州	5月14日(金) 13:30~14:30	九州大学大型計算機センター 3階 多目的講習室 (福岡市東区箱崎 6-10-1)	14:30~16:00 社会の高度情報化と教育 大槻説乎(九工大)
北陸	5月21日(金) 14:30~15:10	金沢大学工学部秀峯会館 2階 大会議室 (金沢市小立野 2-40-20)	15:30~16:50 マルチメディア通信と映像符号化 橋本秀雄(金沢大) 17:10~ 懇親会 会費:3,000円

東北支部 平成5年度電気関係学会東北支部連合大会

期 日 平成5年9月10日(金), 11日(土)

10日(金) 午前: 一般講演

午後: 一般講演, 特別講演

夜: 懇親会

11日(土) 一般講演

10日, 11日の両日: 展示会(計測機器, 電子通信機器, 電力機器他)

会 場 東北工業大学(仙台市太白区八木山香澄町)

一般講演および展示会は仙台市太白区二つ沢の二つ沢校舎で実施予定

一般講演 講演者: 主催学会会員に限る。ただし, 連名の場合は会員外を含むことも差し支えない。

講演時間: 1件15分以内(討論時間を含む)とする。

講演内容: 各専門分野で最近行った研究の発表, 工事報告, 現場実験報告, 新製品の紹介等。

申込方法 (1) 「講演申込書」は申出により「1,600字詰め原稿用紙」, 「原稿の書き方」とともに配布する。郵送希望の場合は, 1~2件...175円, 3~6件...250円, 7~13件...360円, 14件以上...670円分の切手を添えること。

(2) 一般講演および技術報告の論文集はオフセット印刷とするので, 必ず所定の原稿用紙を使用すること。

(3) 申込件数の制限は1名2件までとする。ただし連名は差し支えない。内容が著しく不適当と思われる場合, 講演を制限する場合がある。

(4) 発表者は講演申込みと同時に講演申込金として1件につき3,500円を納入すること。(論文集代, 別刷50部代を含む。)

(5) OHPを講演会場に準備する。(OHP以外の器材使用を希望する場合は講演申込みの際に問合せること)

申込締切 7月5日(月)午後5時必着厳守(申込書と原稿を同時締切とする。)

論文集 発表者には, 大会当日受付にて配布する。その他購入希望者は, 所要部数を早めに申込みこと。(1部3,000円。郵送希望の場合は郵送料として1部510円を添えること。)

申込・問合せ先 980 仙台市青葉区荒巻字青葉

東北大学工学部電気情報系学科内

電気関係学会東北支部連合事務局

Tel. 022 (222) 1800 (4312) 後藤

懇親会 期 日: 9月10日(金) 18:00~20:00

場 所: 仙台国際ホテル

会 費: 学生 3,000円 一般 5,000円(予定)

申込は当日大会会場で受付ける。

宿 泊 特に斡旋はしない。

主 催 電気学会, 電子情報通信学会, 日本音響学会, 照明学会, テレビジョン学会, 情報処理学会各東北支部

関西支部 数値解析研究会講演会

日 時 平成5年7月1日(木) 14:00~17:00

会 場 (財)関西情報センター会議室

大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階

演 題 ①「未定」(14:00~15:20)

川井忠彦(東京理科大)

②「未定」(15:40~17:00)

三村昌泰(広島大)

参加費 無料

申込方法 はがき, FAX または電話にて下記あてに申込みこと。

申 込 先 530 大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階

Tel. 06 (346) 2543 FAX 06 (346) 2443 (大矢)

本会協賛等の行事案内*

<国内会議>

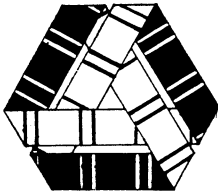
- 第29回機械技術研究所研究講演会
平成5年6月17日(木) 東京・石垣記念ホール
- 第5回知能ロボットコンテスト
平成5年6月27日(日) 仙台市科学館
- 第21回人工知能セミナー
平成5年6月29日(火) 東京・日本ユニシス
- 第197回講習会「ここまできたマイクロアクチュエータとセンシングデバイス」
平成5年6月29日(火) 東京工業大学
- セミナー「シミュレーション技術の現状と将来」
平成5年7月9日(金) 大阪科学技術センター
- 第17回「構造工学における数値解析法シンポジウム」
平成5年7月21日(水)～23日(金) 東京・中央大学
- サマーセミナー'93「コンピュータビジョンの外観検査への応用」
平成5年8月20日(金)～21日(土) KKR 広島白鳥会館
- 講習会「精密小型アクチュエータシステム」
平成5年8月23日(月)～24日(火) 慶應義塾大学
- 第10回色彩工学コンファレンス
平成5年10月26日(火)～28日(木) 東京・工学院大学
- 第8回生体・生理工学シンポジウム
平成5年11月16日(火)～18日(木) 東北大学
- 第2回ポリマー材料フォーラム
平成5年12月1日(水)～2日(木) 東京・国立教育会館

<国際会議>

- MT SUMMIT 4—第4回 機械翻訳サミット
1993年7月19日(月)～22日(木) ホテルオークラ神戸
- The Int'l Symposium on Next Generation Database Systems and Their Applications
September 28-30, 1993 Fukuoka Recent Hotel, Japan
- IISF 国際シンポジウム「コンピュータと人間の共生」
1994年3月7日～9日 東京・国連大学
- 1994 Int'l. Conf. on Spoken Language Processing
September 18-22, 1994 Yokohama, Japan

*詳細は本号会議案内欄参照

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 問合せ先, 4. その他

国際会議

MT SUMMIT 4—第4回機械翻訳サミット (021)

- 1993年7月19日(月)~22日(木)
- ホテルオークラ神戸
- アジア太平洋機械翻訳協会 機械翻訳サミット事務局
Tel. 03 (3479) 4396・4398, FAX 03 (3479) 4895
- 登録費: 40,000 円

RO—MAN '93—2nd IEEE Int'l. Workshop on Robot and Human Communication (*012)

- November 3-5, 1993
- Science University of Tokyo, Japan
- 東京理科大学工学部機械工学科 原文雄
Tel. 03 (3260) 4271 (内 3359) FAX 03 (3260) 4291

The Int'l. Symposium on Next Generation Database Systems and Their Applications (022)

- September 28-30, 1993
- Fukuoka, Japan
- Tetsuya Furukawa
Computer Center, Kyushu University 6-10-1 Hakozaki, Higashi, Fukuoka 812 Japan
Phone: +81-92-641-1101 Ext. 2510,
Fax: +81-92-631-3196,
E-mail: furukawa@cc.kyushu-u.ac.jp
- Paper Submission Due: June 1, 1993

IEEE Int'l. Conf. on Wafer Scale Integration 1994 (023)

- 1994年1月19日~21日
- サンフランシスコ(米国)
- 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 堀口 進
Tel. 0761 (51) 1265, FAX 0761 (51) 1135
- 論文締切: 1993年6月1日

IISF 国際シンポジウム「コンピュータと人間の共生」(024)

- 1994年3月7日~9日
- 国連大学(東京都渋谷区神宮前)
- (財)情報科学国際交流財団
Tel. 03 (5466) 1761, FAX 03 (5466) 1762

ICSLP 94—1994 Int'l. Conf. on Spoken Language Processing (025)

- September 18-22, 1994
- Yokohama, Japan
- Kazuhiko Kakehi
Technical Program Chairman, ICSLP 94
NTT Basic Research Labs,
Midori-cho, Musahino-shi Tokyo, 180 Japan
E-mail: icslp94@av-hp.ntt.jp
Submission of abstract: February 28, 1994

国内会議

第29回 機械技術研究所研究講演会—コンピュータシミュレーションと CAE の新展開

- 平成5年6月17日(木)
- 石垣記念ホール(東京都港区赤坂)
- 通産省工業技術院 機械技術研究所
Tel. 0298 (58) 7035 FAX 0298 (58) 7007

第5回 知能ロボットコンテスト JAPAN '93

- 1993年6月27日(日)
- 仙台市科学館(仙台市青葉区台原森林公園)
- 東北大学工学部機械知能工学科中野研究室
ロボットコンテスト実行委員会
Tel. 022 (222) 1800 (内 4151) FAX 022 (267) 4403
- 応募締切: 1993年5月31日
入場無料

第21回 人工知能セミナー「エンドユーザコンピューティングと AI」

- 1993年6月29日(火)
- 日本ユニシス(株)赤坂本社(港区赤坂)
- (社)人工知能学会事務局
Tel. 03 (5261) 3401 FAX 03 (5261) 3402
- 参加費: 会員 18,000 円, 非会員 30,000 円, 学生 6,000 円

第197回 講習会「ここまできたマイクロアクチュエータとセンシングデバイス」

- 平成5年6月29日(火)
- 東京工業大学百年記念館(目黒区大岡山)
- (社)精密工学会
Tel. 03 (3362) 1979 FAX 03 (3367) 0994
- 参加費: 会員 24,000 円, 非会員 36,000 円, 学生無料

セミナー「シミュレーション技術の現状と将来」

- 平成5年7月9日(金)
- 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町)

- (社)科学工学学会関西支部セミナー係
Tel. 06 (441) 5531 FAX 06 (443) 6685
- 参加費：会員 15,000 円，非会員 20,000 円，
学生会員 7,000 円

第 17 回「構造工学における数値解析法シンポジウム」

- 1993 年 7 月 21 日 (水)～23 日 (金)
- 中央大学駿河台記念館 (東京都千代田区神田駿河台)
- (社)日本鋼構造協会
Tel. 03 (3212) 0875, FAX 03 (3212) 0878
- 参加費：一般 10,000 円，学生 2,000 円

サマーセミナー '93 「コンピュータビジョンの外観検査への応用」

- 1993 年 8 月 20 日 (金)
- KKR 広島白鳥会館 (広島市中区東白鳥町)
- 主催：(社)精密工学会
問合せ先：東京農工大学工学部電子情報工学科
金子 俊一
Tel. 0423 (81) 4221 (内 536), FAX 0423 (87) 4617
- 参加費：会員 15,000 円，非会員 20,000 円，
学生 3,000 円

講習会「精密小型アクチュエータシステム」

- 平成 5 年 8 月 23 日 (月)～24 日 (火)
- 慶應義塾大学日吉校
- (社)日本機械学会 情報・知能・精密機器部門
Tel. 03 (3379) 6781 FAX 03 (3379) 0934
- 聴講料：会員 25,000 円，非会員 30,000 円，
学生会員 5,000 円，一般学生 10,000 円

第 16 回 情報理論とその応用シンポジウム (SITA' 93)

- 平成 5 年 10 月 19 日 (火)～22 日 (金)
- 金沢シテイモンドホテル (920 金沢市橋場町 2-10)
- SITA '93 事務局 岡本 栄司
923-12 石川県能美郡辰口町旭台 15
北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科
Tel. 0761 (51) 1285 FAX 0761 (51) 1338

第 10 回 色彩工学コンファレンス

- 1993 年 10 月 26 日 (火)～28 日 (木)
- 工学院大学 (新宿区西新宿)
- 共催：光学四学会
問合せ先：連企画気付「色彩工学コンファレンス事務局」
Tel. 03 (3433) 2543 FAX 03 (3433) 3904
- 講演申込締切：1993 年 7 月 20 日 (火)

第 8 回 生体・生理工学シンポジウム

- 平成 5 年 11 月 16 日 (火)～18 日 (木)
- 東北大学工学部 (仙台市青葉区荒巻字青葉)
- (社)計測自動制御学会
Tel. 03 (3814) 4121 FAX 03 (3814) 4699
- 講演申込締切：平成 5 年 6 月 30 日 (水)

第 2 回 ポリマー材料フォーラム

- 1993 年 12 月 1 日 (水)～2 日 (木)
- 国立教育会館 (東京都千代田区霞ヶ関)
- (社)高分子学会 PMF 係
Tel. 03 (3543) 7857 FAX 03 (3545) 8560
- 発表申込締切：1993 年 6 月 30 日 (水)

教官募集



○大学等情報関係教官募集

鹿児島大学工学部通信システム工学講座

- 募集人員 教授 1 名
専門分野 コンピュータ (計算機システム, 計算機構成要素, ソフトウェアなど), 情報処理 (画像処理, 音声処理, 計算機応用など), 情報通信システム (通信ネットワーク, 通信理論, 通信方式など) のいずれかの分野 (ただし, コンピュータ関係教科を担当できることが望ましい)。
応募資格 博士の学位を有し, 大学院の指導担当が可能な者 (ただし, 55 歳くらいまでが望ましい)。
着任時期 決定後なるべく早い時期。
提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要論文の別刷 (コピー可), 推薦書, 自薦の場合は本人に関する所見を求める人の氏名 (2 名)。
応募締切 平成 5 年 7 月 30 日

- 送付先 890 鹿児島市那元 1-21-40
鹿児島大学工学部電気電子工学科主任 吉田 宏
応募書類は書留。
問合せ先 鹿児島大学工学部電気電子工学科通信システム工学講座 伊藤士郎
Tel. 0992 (85) 8416 (ダイヤルイン)
Fax 0992 (56) 1356

茨城大学工学部情報工学科

- 募集人員 (a)教授 1 名, (b)助手 2 名
専門分野 (a)プログラミング言語, 基本ソフトウェア, (b)コンピュータシステム, 画像理解及びパターン認識 (リモートセンシング)。
応募資格 (a)情報工学科または関連分野での博士号を有する者。(b)情報工学科または関連分野での修士号を有するか, 平成 6 年 3 月 31 日までに取得見込の者。
着任時期 平成 6 年 4 月 1 日もしくはそれ以前。
提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要論文別刷, 研究計画, 本人についての所見を求め得る方の氏名所属とその住所, 職名, 電話番号。
応募締切 平成 5 年 7 月末日 (ただし, 適当な応募がない場合は延長する)。
送付先 316 日立市中成沢町 4-12-1
問合せ先 茨城大学工学部情報工学科主任 星 仰
(応募書類在中と朱書)
Tel. 0294 (35) 6101 (内 385)
備考 大学院平成 5 年度博士課程開設。

湘北短期大学電子情報学科

募集人員 助手 1 名
 所 属 電子情報学科
 専門分野 電子回路および情報処理に関連した分野に強い
 関心を持ち、将来本学科の中心となって活躍でき
 る者。
 着任時期 決定後できるだけ早い時期。
 応募資格 25 歳前後、修士課程修了以上（博士課程中退可）
 でエレクトロニクスおよび情報処理の教育に熱意
 がある者。
 提出書類 (1)履歴書、(2)発表論文リスト、
 (3)主要論文別刷、(4)推薦書一通、(5)本人に
 ついて所見を求め得る方 2 名以上の氏名・連絡先。
 応募締切 平成 5 年 8 月 31 日
 送付先 243 厚木市温水 428
 学校法人 ソニー学園 湘北短期大学 総務部総務部
 長 山本好敬「電子情報学科教員公募書類」と朱
 書き、書留。
 問合せ先 電子情報学科教授 落合 萌、金子一彦、
 小野博敏 Tel. 0462 (47) 3131 (代)

理化学研究所

募集人員 若干名
 職 務 フロンティア研究員（1 年契約により更新）、名古
 屋市勤務。
 研究分野 1) 生体ミメティックセンサ研究（視覚・聴覚・触
 覚および感覚融合の解析、理論モデルおよびその
 実現）。
 2) 生体ミメティック制御系研究（自己組織・自律
 分散システムの理論解析、生体運動系解析、ロボ
 ティクス）。
 応募資格 博士取得者または同等以上の研究能力を有する者
 （国籍は問わない）。
 着任時期 平成 5 年 10 月 1 日以降。
 提出書類 履歴書、研究業績（論文、著書、国際会議、その他
 に分けて記入）、主要論文別刷、推薦書（在学中の
 者は指導教官）、将来の研究に対する抱負（形式自
 由；1,000 字程度）。
 平成 5 年 8 月 10 日。
 351-01 和光市広沢 2-1
 バイオ・ミメティックコントロール研究センター
 開設準備室室長 富田
 Tel. 048 (465) 7898 Fax 048 (465) 8048



雑報



○通産省工業技術院試験研究所の研究者募集

募集人員 約30名
募集分野 化学, 物理, 電子, 機械等
応募資格 博士課程修了者または見込者(学位取得可能な者)かつ昭和35年4月2日以降生まれの者。
給与 237,900円の基本額と諸手当
提出書類 履歴書, 修了・成績証明書, 修士および博士論文の要約, 研究業績等。
公募締切 平成5年7月31日
採用予定日 平成6年4月1日
選考方法 8~9月上旬の予備審査, 10月上旬の最終審査で候補者を決定。
その他 公務員宿舍, 有給・夏季休暇あり
連絡先 305 茨城県つくば市東 1-1-4
 筑波研究支援総合事務所 研究企画調整官室
 Tel. 0298 (54) 2170~2 FAX 0298 (55) 3833

○1993年 C&C 賞候補者推薦のお願い

C&C 振興財団は, 情報処理技術と通信技術の融合する分野(C&C 分野)における開拓活動および研究活動に対する奨励および助成を通じて, エレクトロニクス産業の一層の発展を図るために, 1985年3月に設立された財団法人であります。その事業の一つとして, C&C 分野の開拓または研究に関する功労者に

対して C&C 賞を贈呈いたします。本年度は, 9回目でありま。顕彰は毎年1回2件以内として, 各受賞者には賞状, 賞牌と賞金(1件当たり原則として1千万円)を贈呈いたします。

つきましては, 1993年 C&C 賞の候補者をご推薦いただきたく, お願い申し上げる次第です。推薦要領をご参照のうえ, 推薦書にご記入いただき, 来る5月28日(金)までに本財団に届くようご返送方お願いいたします。

推薦要領, 推薦書請求および送付先

108-01 東京都港区芝 5-7-1
 日本電気本社ビル内 (財)C&C 振興財団
 Tel. 03 (3457) 7711 FAX 03 (3798) 6599

○第10回(平成5年度前期)(財)国際コミュニケーション基金の助成・援助募集

対象 国際通信の普及・発展と国際間のコミュニケーションの促進を図り, 世界の調和ある健全な発展に寄与することを目的とし, 次の事業に対し, 助成・援助を行います。

- I. 調査研究助成
- II. 国際会議開催助成
- III. 国際会議参加助成
- IV. 社会的・文化的諸活動助成

平成5年10月から平成7年3月末までに開催, 実施および参加のものを対象とします。ただし, Iについては後期のみとします。

助成・援助金額

- I. 1件あたり100~1,000万円程度。
- II. 1件あたり最高300万円まで。
- III. 海外で開催される国際会議への日本からの参加者または日本で開催される国際会議への海外からの参加者とし, 1名あたり最高50万円まで。
- IV. 1件あたり最高200万円まで。

申込期間 平成5年5月1日(土)~5月31日(月)

問合せ先 163-03 新宿区西新宿 2-3-2

(財)国際コミュニケーション基金
 Tel. 03 (3347) 7094

編集室



会員の声

・各種のシンポジウム, 講演会, セミナなどの開催記事に関して, その催し物の狙いとかトピックスが強調されるようなコメントやメッセージを付記していただけるとより興味がそそられ結構なのですが…。 (吉川彰夫)